

— いまだから伝えたい —

被爆者からあなたへ

被爆60年「わたしの訴え」中間報告

「あの日」のようにセミが鳴いています。
60度目の夏がめぐりました。

その時に開かれる「ノーモア・ヒロシマ・ナガサキ 国際市民会議」にあたり、日本被爆団協は、会議の成功のため被爆者一人ひとりに何ができるか、を考えました。そして、人類初の原爆投下を裁くために世界の市民が集うこの機会に、被爆者でこそできるし、しなければならぬつとめとして、「わたしの訴え」を書くことをよびかけました。

「訴え」の項目はたくさんありますが、主な柱は三つです。

一つは、いま一度、「あの日」がどのような日であったか、を書き記すことです。それはたんに「事実の記述」ではありません。多くの被爆者が、じつは思い出したくない「あの日」、けれども一日たりとも忘れたことはなく、繰り返し夢にまで見る「あの日」と、あらためて、あえて、60年目のいまだからこそ、向き合いました。そこに記されていること、それ自体が、人類が二度と経験してはならない日についての「訴え」です。

二つは、被爆者は「あの日から60年」をどう生きてきたか、です。ある被爆者は「この60年でもっとも苦しかったことは」の問いに、こう答えています。「一つになんてしぼれない。すべてが苦しかったのだ」と。原爆はたんに「60年前の遠い過去」ではありません。死者たちへの悼みと「自分だけ生き残ってしまった」意識を背負いつづけ、つねに死の恐怖を抱きつづけ、病と暮らしに苦し

みつづけてきた被爆者にとって、原爆の被害とは、「60年間1日も絶えることなく、いまもつづいている被害」なのです。ここに記されていること、それ自体が、「60年たってもお人間を苦しめつづける」という、他に例をみない原爆の残虐性・犯罪性についての「訴え」です。

三つは、被爆者が60年目のいま、世界と日本の同時代を生きる人びとへ、そして次にこの地球を背負う世代の人びとへ、いま一番いいたいこと、です。そこには、切なる願いがあり、要求があり、怒りがあり、告発があり、次代に残す伝言がつづられています。

被爆者の平均年齢は73歳をこえました。年老いて病をかかえる被爆者が、重い重い心を「よいしょ」と持ち上げるようにして、筆をとりました。書くことが思うようにならない人のためには、若いボランティアが聞き役をつとめ、その思いを文字にしました。

ここには、今日まで生き抜いてきた被爆者の被害と60年と思い、一言でいえば「被爆者のいま」が詰まっています。私たちは、この「訴え」が、会議に集まるみなさん一人ひとりの胸に伝わり、すべての討論をささえる魂となって、会議の豊かな成果とともに、全世界の人びとへ、次の次代へ語り継がれ、「核兵器も戦争もない地球」を実現する原動力として生かされること、を心から願っています。

日本原水爆被害者団体協議会

日本原水爆被害者団体協議会

ノーモア ヒロシマ・ナガサキ
国際市民会議第4分科会Ⅱ 「わたしの訴え」作業グループ

被爆60年「わたしの訴え」中間報告のあらまし

1. 「わたしの訴え」とりくみの経過と回収状況

1) 経過: 呼びかけまで

日本被団協は2004年10月に全国都道府県代表者会議を開き、「被爆60周年・被爆者大運動」の7つの柱の一つとして、「いまなお残る原爆被害の聞きとり・語りつたえ運動」や、被爆者に「わたしの訴え」を書いてもらう運動にとりくむことを決定した。今年に入り、国際市民会議の準備過程で、第4分科会（継承）関係者や周囲のボランティアのなかから、会議に被爆者のこえを反映させるために何としても「わたしの訴え」にとりくもうという機運がわき起こり、その協力をえて急速に具体化。3月はじめに「被団協」新聞の読者を中心に、全国の被爆者に「訴え」を送付、協力を呼びかけた。

2) 「わたしの訴え」のねらいと内容

「わたしの訴え」は、ほぼ国際市民会議のテーマに呼応する6つの設問から成り立っている。

問1～3（「あの日」、それから、60年後のいま総括的に、被爆者の苦しみをとらえる）

問4（原爆被害の責任の所在をたずねる）

問5（A. アメリカ政府への訴え、B. 日本政府への訴え）

問6（被爆者として言いたいこと、次代への訴え）

この「訴え」は、原爆から60年を生きてきた被爆者たちの苦しみと思いを、それぞれの「ことば」で自由に表わしてもらうことを主眼としている。同時に、その記入を助けるために、いくつかの選択肢も設けた。

3) 記入の方法

自分で記入、または、周囲の人による聞きとりによる。

4) 集約の時期

国際市民会議に反映させるための締め切りを5月15日とした。

5) 回収状況と有効回答者数

実質2か月ほどの短期間であったが、「訴え」に応じた被爆者は、全国43都道府県から1,622人に達した。そのうちこの中間報告で有効な回答として

集計の対象としたのは、1,612人分である。

手帳所持者の24.1%（宮城）、24.0%（石川）、被爆者の会会員の3割（埼玉）に及んだ県もある。回答者の94.2%は自分で記入。中には、判読困難なほどの震える文字で記入してきた人や病床上で記入した人、名前だけ書いた人（書けないけれど、大事なものだから／聞いてもらえれば話をする）もみられた。回収状況からも被爆者たちの熱い思いが伝わってくるようであった。

「訴え」を読んだ各県被爆者の会の役員らは、60年続いた被爆者としての苦悩を再認識し、また、被爆者健診の折に聞きとりをした石川県の病院関係者からは、「涙なしには聞けなかった、こういう機会を与えてもらいとてもよかった」と感謝されたという。

2. 回答者集団の特徴について

回答者集団（1,612人）の属性の特徴は、直近の厚生省「平成7年度原子爆弾被爆者実態調査（生存者調査）報告」と対比してみると次のとおりである（ただし、10年前の資料であることに留意）。

1) 性別：男55.5%（厚生省調査：42.2%＝以下、（ ）内は同様）、女44.5%（57.8%）で、男女比が逆、回答者集団は男性に傾いている。

【グラフ1参照】

2) 被爆時年齢：10年の経過によって、被爆時30歳以上の減少、9歳以下の増加は当然であろうが、今回の回答者には、相対的に、被爆時10代、20代の男性が多い。

【グラフ2参照】

3) 被爆地別：広島被爆57.7%（62.6%）、長崎被爆42.3%（37.4%）で、長崎被爆に傾く。

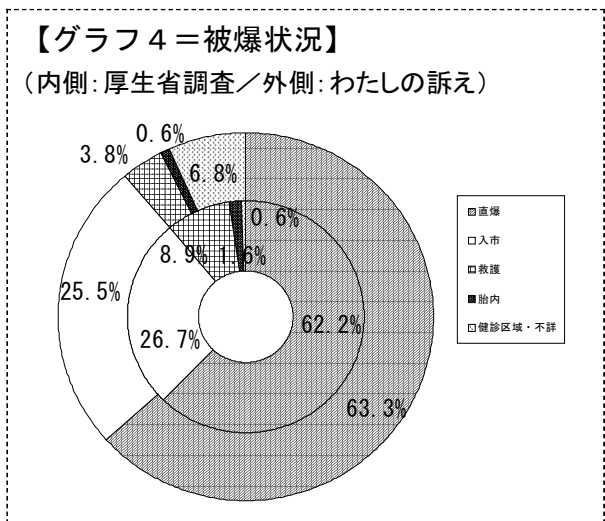
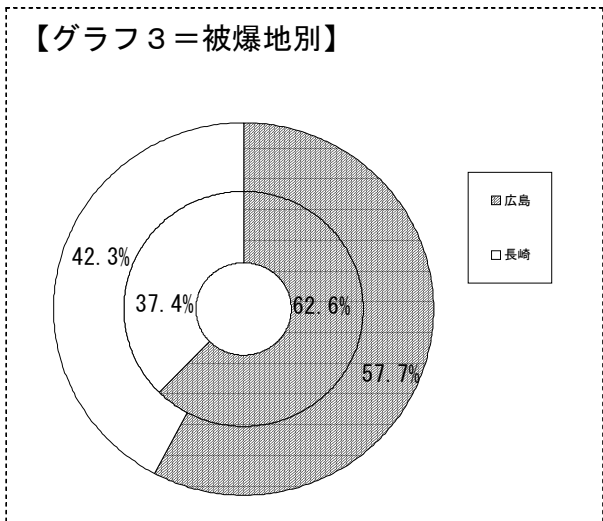
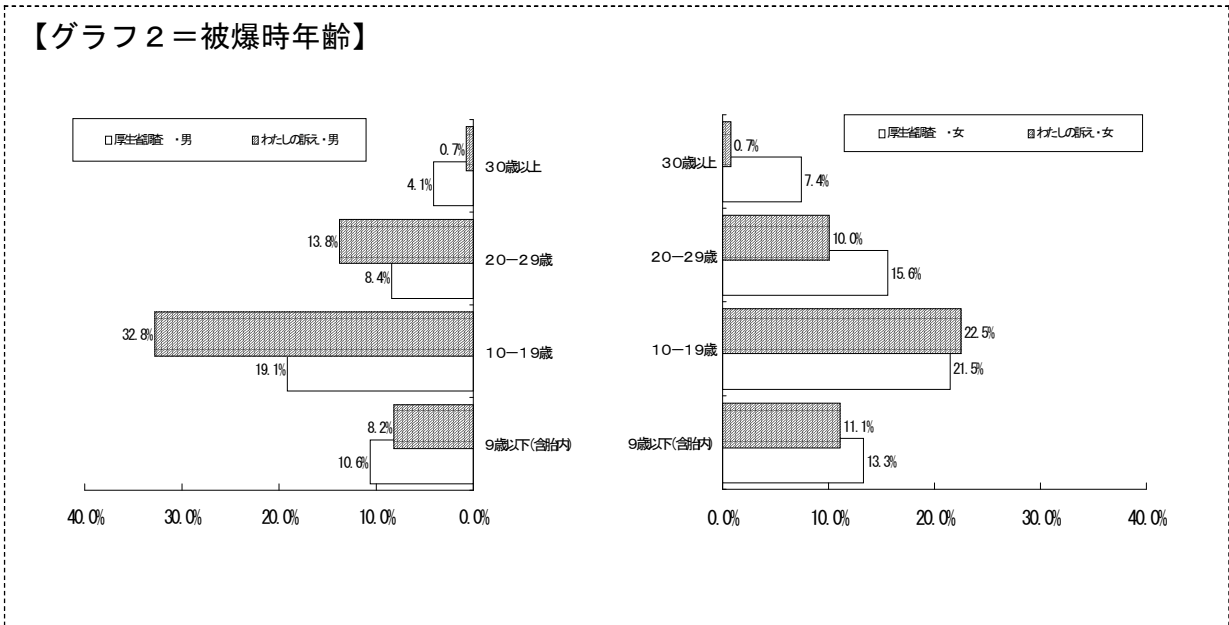
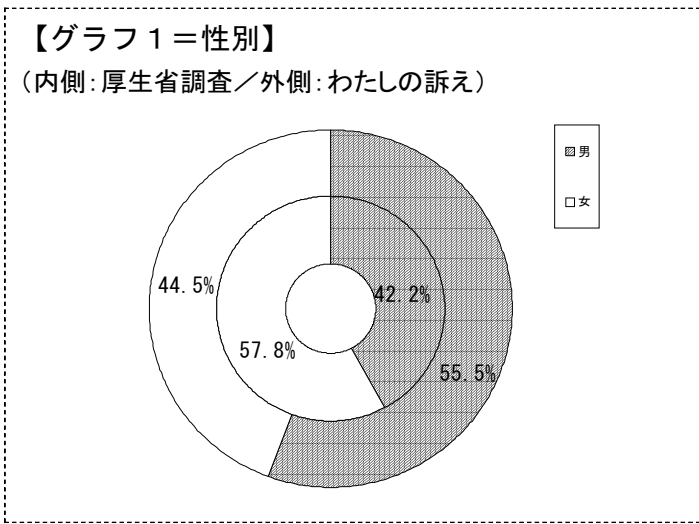
【グラフ3参照】

4) 被爆状況：厚生省調査との間にそれほどの差異は見られない。

【グラフ4参照】

3. 「わたしの訴え」中間報告の特徴点

中間報告は、各問に自由に記述した回答（抜粋）と選択肢項目の集計結果（各問の単純集計とクロス集計の一部）からなる。必ずしも統計的な集約をめざしたものではないが、選択肢項目の集計によって大まかな傾向を量的にとらえておくことは、自由に記述された「ことば」を理解するための手助けにな



ることと思う。

「訴え」に込められた被爆者のこえの特徴については、おおむね次のような点が指摘できよう。

1) 60年——いまなお続く原爆の被害

問1～問3をつうじて、原爆被害とは、「あの日」

にとどまらず、「生きている限り」続くものであることが如実に綴られている。

・「あの日」の記憶の生々しさ

何度も夢に見る、まぶたから消えない、あの声が今でも聞こえる、など、被爆者にとっての「あの日」は、60年経っても消えることのない生々しい記憶である。7割近い人たちが死者の姿や苦しむ人々の姿を忘れることができず、半数近くが、「水や助けを求める人たちに何もしてあげられなかったこと」に苦しんでいる。

・「心の傷」の深さ

60年間でとくにつらかったこととして、「あの日のできごとが心の傷になって残った」と答えた人は39.6%。日本被団協「原爆被害者調査」(1985年)の類似の設問に対する回答(21.6%)と比べても、その割合は著しく高い。近距離で被爆した人で47.8%(1km以内)、43.6%(2km以内)と平均より高いのは、あの原爆地獄の体験に根ざした傷であることを物語っている。一方、救護被爆の人において50.8%と高いのは、助けを求める人に何もできなかった体験に基づくものと考えられる。

近年、心の傷に関する社会的関心が高まってきているとはいえ、被爆者の受けた「心の傷」については、国の調査や施策においてはもちろん、社会的にも、ほとんど何の注目も手当てもされてこなかったことに注意を促したい。

・自らの健康不安と、子や孫の健康への不安のつよさ

自分の健康についての不安は、73.0%(問2)、69.7%(問3)と、何よりも被爆者を苦しめつづけている。子や孫の健康についての不安は、48.1%(問2)、50.1%(問3)。85年調査において、自分の健康の不安が49.0%、出産/子の健康の不安が23.0%であったことと比べると、この20年の間に不安がますますつづいてきていることがうかがわれる。

・被爆者であることを隠して

「被爆をかくして生きてきた」人は4人に1人。年齢の高い層よりは低い層に、また、男性よりは女性に多く、氏名の公表を不可とする人は、女性において36.6%にもものぼった。被爆者であることが知られたときに受けた心ない言動について記述した人も多く、こうした秘匿を根拠のない不安からと否定することはできない。

2) 戦争へのつよい危機感

被爆者として、今とくに心にかかっていることでは、自分の健康(69.7%)、子や孫の健康(50.1%)と並んで、また核兵器が使われるのではないかと(65.5%)、日本がまた戦争する国になるのではないかと(52.4%)と答えた人が多かった。

核兵器使用の危険については、これまでの各種調査でも高い比率を示してきたが、戦争への危機感は今回の「訴え」の著しい特徴で、問3に限らず、質問項目のほとんどすべてにわたって見ることができる。「9・11」以降の世界や日本の現状を、戦争・原爆を体験した者のとぎすまされた感覚でとらえ、警鐘を鳴らす、被爆者ならではの「ことば」に注目してほしい。

3) 米日政府の責任を問う——60年間の怒りをこめて

原爆被害の責任の所在については、アメリカ政府(20.7%)、日本政府(9.7%)、米日両政府(56.9%)。これらを合わせると、8割近くの人がアメリカ政府の責任を問い、7割近くもの人が日本政府の責任を問うていることになる。【グラフ5参照】

多くの被爆者が米日両政府に責任があると考える理由は、「戦争は日本が始め、原爆はアメリカが落とした」という短いことばに端的に表れている。

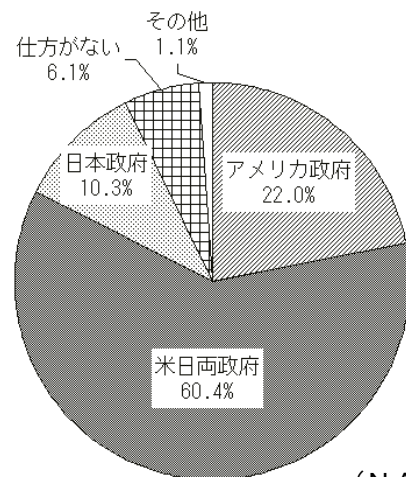
一方、「戦争だから仕方がない」と答えた人は5.7%。近距離被爆の者ではこの割合は低く(1km以内2.2%)、つらかったことが「とくにない」人において高い(18.5%)。

「米日政府に求めたいこと」の回答をみると、被爆者たちの問う米日政府の責任の内容とともに、彼らの怒りがいかに深いものであるかがより具体的に分かる。

・アメリカ政府に対して

被爆者はアメリカの広島・長崎への原爆投下を「人類に対する犯罪」「戦争犯罪」として、今なお決して許してはいない。ここでは、60年前の原爆投下について、一言の謝罪も反省もしないばかりか、今なお使える核兵器を開発しつづけて、他の国に持つな

【グラフ5＝
原爆被害の責任はどこにあると思うか】



(NAを除く)

と脅迫する、その理不尽さ、傲慢さを、怒りをこめて鋭くついていることばが印象的だ。謝罪要求、国連尊重は比較的男性に多く、核不使用宣言、武力攻撃中止は女性に多い。原爆被害の責任はアメリカ政府（のみ）にあるとした人では、その71.6%が謝罪を求めている。

被爆者はアメリカに対する憎しみをのりこえ、「和解の精神」をもっていると言われるが、アメリカ政府が自ら犯した罪を認め、「被爆者に謝罪すること、その証として、まず自国の核兵器をすて、核兵器廃絶へ主導的な役割を果たすこと」（「原爆被害者の基本要 求」）なしに、和解はありえないことを、これらの被爆者のことばは示している。

・ 日本政府に対して

実相を世界に（68.1%）、核保有国に核廃絶をせまれ（68.0%）、原爆被害への国家補償を（65.4%）、憲法9条による平和外交（64.5%）と、それぞれ多くの人が選択。とりわけ、「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」の制定から10年経ったいま、3分の2の被爆者が国家補償の制度を求めている意味は重い。また、憲法9条の遵守についても、各種世論調査と比べて著しく高いことに注目したい。

男性で国家補償を選んだ人が多く、女性で実相普及、9条遵守が多い。年齢別では、被爆時10代でほとんどすべての数値が高いが、30歳以上で9条遵守が75%と突出している。自由記述においては、国家補償を行わないだけでなく、アメリカに追随して戦争する国にして行こうとする政府への怒りと、二度と戦争をするな、9条だけは守ってほしい、世界に実相を広げて、という切々たる訴えが目立っている。

「アジアの人びとへの謝罪・補償」を選んだ人は40.7%で、他の項目に比べれば低い。しかし、被爆したために苦難の生を強いられながら、被害への国家補償を求め、国の戦争責任を追及し続けてきた被爆者たちの4割が、アジアの戦争犠牲者に心を寄せていることの意味は決して小さいものとは言えないだろう。

4) ふたたび被爆者をつくらないために

「自分たちのような苦しみは、世界中の誰にも二度と味わわせたくない」「ふたたび被爆者をつくらない」——原爆地獄の体験と60年にわたる不安と苦しみに満ちた人生に根ざした被爆者たちの何よりの願いは、「訴え」のここかしこに、とりわけ最後の項目「次代への訴え」に記されている。

日本被団協はその願いの実現のために、「核戦争起こすな、核兵器なくせ」「原爆被害にたいする国家補償」を「原爆被害者の基本要 求」として掲げてきた。「訴え」は、被爆60年後の核兵器と戦争をめ

ぐる現状に照らして米日政府が負うべき責任と、それを追及しつづける被爆者たちのつよい意思をも示しながら、この要求をさらにゆたかに肉付けしていると言えるだろう。

4. ボランティアと共同のとりくみとして

——被爆60年の秋から被団協結成50周年へ向けて

「わたしの訴え」は、その企画立案からデータの入力・集計・自由記述の読み込み・とりまとめ・翻訳など、すべての過程にわたって、ボランティアの協力で行なわれてきた。10代から70代まで、学生・大学院生・会社員・生協の労働者や組合員・教員・フリーランサー・ジャーナリスト・退職者、長く被爆者の聞きとりをしてきた人や初めての人。これら様々な人々と被爆者がともにすすめてきた「わたしの訴え」は、その作業の過程そのものが被爆体験の継承活動であるような、ユニークなとりくみになっている。被爆者たちに今なお残る深いところの傷も、それを受けとめてくれる人たちがあってこそ「ことば」にすることができる。「わたしの訴え」のとりくみが、小さいながらも、被爆者の苦しみと願いの受け渡しの間となってきたことに、今後への希望をつなぎたいと思う。

まずはこの中間報告をつうじて、国際市民会議の議論に被爆者たちの思いを大いに反映させていくこと。同時に、「わたしの訴え」の活動を、国際市民会議以降も本格的に広げ、今秋の被爆者大集会、さらには来年夏の日本被団協結成50周年をめざして、一人でも多くの被爆者のこえを掘り起こしていきたい。被爆者からの聞きとりはもちろん、集約作業とともにすすめ、被爆60年以降の被爆者運動を国民的な広がり支えていくために、多くのおみなさんのご協力を呼びかけたい。

（第4分科会Ⅱ「わたしの訴え」作業グループ）

自由記述抜粋

「わたしの訴え」に寄せられた被爆者の自由記述から抜粋しました。紙幅の都合でごく一部しか紹介できませんが、なるべく特徴的なものを網羅しました。

凡例：7桁の整理番号（被爆地・手帳区分・直爆の場合の距離・性別・被爆時年齢）

問1. 「あの日」やその直後のことで、今でも忘れられないこと、恐ろしく思っていること、心残りなことはどんなことですか？ [いくつでも選択可]

- ① 人々の死んでいる姿、死に方のむごさ ② 苦しんでいる人たちの姿 ③ 家族や身近な人たちの死
 ④ 自分自身の火傷や負傷 ⑤ 水や助けを求める人たちに何もしてあげられなかったこと
 ⑥ 生き残ったことの後ろめたさ ⑦ 何をみても無感動だったこと
 ⑧ その他 []

とくに忘れられない光景や、それを見て感じたことを具体的に。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	NA	計	回答者数
選択した人数(人)	1119	1047	573	295	782	238	245	185	166	4650	1612
回答者数に占める割合(%)	69.4	65.0	35.5	18.3	48.5	14.8	15.2	11.5	10.3	228.5	100

【全体の傾向】 自由記述のあったもの 77.2%

光景については、「人間とは思えない」「無惨に変わり果てた姿や死体」「乳飲み子と母の姿」「子どもの姿」などの記述が多い。心残りなこととして、「水を求める人にあげられなかった」「苦しむ人を助けられなかった」など、悔いと自分を責める記述が目立つ。死にゆく人を前に、「明日はわが身」と感じる不安。あまりの地獄絵に、感覚を麻痺させることでしか生きながらえられなかった様子が伝わってくる。書くことのできない人もいる。60年たった今も、心の傷は癒えず、視覚・聴覚・嗅覚にあの日はこびりついている。

●何も語る事が出来ません。子供の心の中に地獄を見てしまったから

0410014 (広島 直爆 1.7 女 9)

●階段に100人～200人くらいの死体の山がおり重なっていた。その山がおそらく10コ以上はあった。10歳の私はこれはまさに地獄だと絶句した。その時の情景が70歳になった今でも目の前に浮かんでくる。

4310088 (長崎 直爆 2.5 男 10)

●放心の態の乙女たちの血を垂らしながらの歩行。少年の死骸の哀れさ。黒焦げの死体。黒焦げの電車。

1610005 (広島 入市 男 21)

●遺骸はみな目を開けて虚空を睨んでいた。無念さを訴えているようで、足がすくみ立ち去ることができなかった。

4310093 (広島 直爆 2.7 男 15)

●誰にも声かけてもらえずに死んでいった人々の事。

4310132 (長崎 直爆 女 18)

●被爆者の死体、身体中の皮膚が剥がれてぶらぶら下がったもの、身体全体が膨らんで倍のように大きくなったものを、4人で両手両足をもって運んだ。真夏だから3日間ぐらいでもう口に蛆虫が群がっていた。100体～120体ほど運動場の広場に集めた。軍の命令であらゆる鳥獣から守るため、夜間見張るよう指示を

受ける。1名1時間交替で不寝番をせよとの指示をもらい籤を引く。私は午前1時から2時まで、当日満月で昼のように明るかった。誰がいったか知らないがその役目を屍衛兵と呼んでいた。明るいので屍全体見渡せた。身の毛もよだつほど怖かった。自分の軍靴の音まで恐怖を感じた。どれもこれも忘れられないものばかりであったが、この事だけは今でも脳裏にやけついて離れない。

1710025 (広島 入市 男 15)

●怪我をした母親が首のない赤児を背負い、2-3歳の子供を連れてよたよた歩いていました。私を見て、この子供を頼むと倒れ、その子供も近所の人々の手当の甲斐なく亡くなりました。

4310140 (長崎 直爆 3 女 14)

●私は諫早中学で皮ふも焼けただれて髪もこげ、男女の区別もつかない人たちばかり何百人も床の上のところがしてあったことは生きてる間忘れられないでしょう。水を飲ませてあげたくても焼けただれて口も目もあかないんです。でもその中の1人に私の「ハチマキ」に水をしめして口に流してあげたら、くっついた目から涙が流れたのを忘れることが出来ません。次の日行った時はその人は死んでたんです。

4310173 (NA 救護 女 15)

●閃光の後、前の通りを歩く成人男性（一人）の全身から噴水のように血が吹き出ていました。

4010032（長崎 直爆 女 10）

●全身火傷で目にいっぱい涙を浮かべ、救護する方に首を振って座ったまま動こうとしなかった男性。

4310087（長崎 直爆 2.1 女 18）

●兵舎の土間に建物疎開の作業中重傷を負った中学生約10名が横たわり、「水を！」「水を！」と訴えつつ母の名を呼んでいた姿。

3210004（広島 直爆 2.5 男 18）

●防空壕の中で、沢山の被爆者たちが火傷を負い、薬もなく、ただれた顔を火傷の手でなでている姿。

4010060（長崎 直爆 女 5）

●母の火傷のすがたをみたら自分の親でもこわかった。

1710002（広島 直爆 1.8 女 4）

●夜などどこからか「からすの赤チャンなせ鳴くの…、夕やけこやけで日が暮れて…」など童謡を口ずさむ患者など…。唄っている方へ行ってみると、必ずしも子供でなかった。

0410060（広島 直爆 2.3 男20）

●幼児被爆なので強烈な部分しか記憶にありません。原爆が炸裂した時の銀白色の閃光、光に包まれてまるで夢を見ているようでした。次の瞬間真っ暗になり、頭上に瓦がガンガン落下してきた時の痛さと恐怖！今でもはっきり憶えています。

1710003（広島 直爆 2.3 女 4）

●今でもその時の血と膿の臭い・死臭が鼻腔をついてくる。その時の光景を体験画にしようと当時の様子を思い起こして描こうとすると心拍の異常（不整脈）が出たりして、堪え難い気分におちいる。たった一発の原子爆弾が、一瞬のうちに街を地獄とし、女性や老人、子供たちら数万の市民が無念のうちに焼き殺されていったのだ。原爆が憎い。戦争が憎い。

1710024（長崎 直爆 男 9）

●八丁堀の防空壕から聞こえた「悲鳴」が耳から離れず、こわい。

3410016（広島 入市 女 28）

●人間の姿ではない。人間のすることではない。

4010069（長崎 直爆 3.2 男 17）

●学徒動員で飛行機の操縦席の制作していました。～中略～ 被爆の後、その日は己斐の山に登り学校からの指示を待ちました。黒い雨にずぶぬれになりました。広島町を見ると炎の海でした。午後何時だったかはわかりませんが、県女の生徒は避難して来る県立一中の生徒の介護にあたるように指示され、顔はやけふくれ、はだかでボロボロになって歩いて来る人に声をかけました。一中の生徒と答える人を救護所（投下後すぐたてられた小屋）に連れて行き、カタクリをといたものをまかせてあげました。やけどをした生徒たちは軍人勅諭を叫びながら自分の不甲斐なさに声をあげて泣きました。3日間で何人の生徒が死んだか定かでは

ありません。しかし、死のまぎはそれぞれお母さんへの伝言をたのまれました。先だつ親不孝を言う人、おかあさんの無事をとう人、米国の爆弾にやられて死ぬくやしきなどでした。しかし、私は伝えてあげるという約束を果たさないまま今まで生きています。同じ工場に動員されていたながら、昔は男女が声をかけ合うことを許されていなかったの、亡くなった人の顔は知っていても名前はよくわからなかったのです。しっかりと伝言を聞き伝えると約束したのにどうすることもできません。

3410029（広島 直爆 3 女 14）

●死体焼却の毎日、何とも切ない思いですごした。～中略～ やけどしてジャガイモの皮がぶら下がっているようなすさまじい体で、素足のまま、兵隊さん水をチョウダーイと泣き叫ぶ子供たちに、何の手だても出来なかった初年兵の悲しさが、今でもすまなかったねとおわびしています。

4610003（広島 受診者証 男 19）

●街の中央に近づいた時私たちはだんだんと狂ったようになった。黒こげ、半黒こげの人間を見ても何も感じない人間になっていった。

3410002（広島 直爆 4.1 男 17）

●感受性の強い17歳だから、あの惨状を見て強烈に感ずるはずが、死体を見ても、悲しくもおそろしくもない。人間は追いつめられると人間としての感情を失う。これが戦争の実態であり、むごさだと感じた。

4010065（長崎 入市 男 17）

●収容先の病室から毎日死者が運び出されて行く姿。“明日は我が身か”と毎日が不安でならなかった。

4110006（長崎 直爆 1.3 男 15）

●一発の爆弾で壊滅した広島街、惨い姿の死者と怪我人、アメリカは何という恐ろしい爆弾を開発したのか。日本はもう負ける。戦争が終わって世界の人々がこの爆弾の存在を知ったら、もう戦争はしなくなるだろう。国家間で問題が起きて、戦争という手段では無く、粘り強い話し合いで解決するようになるだろう。私はこの爆弾のモルモットにされた、このケガでは死ぬと思う。でも、地球上に戦争の無い平和が来るのなら、笑って死んでゆこうと思った。

0110023（広島 直爆 1.7 女 22）

問2. 被爆してから今日までの60年間、被爆者として生きてきて、とくにつらかったことはどんなことでしたか？ [いくつでも選択可]

- ① 家族を失った
- ② 病気がちになった
- ③ 自分の健康がいつも不安
- ④ 就職・仕事が思うようにならず
- ⑤ 進学や学業が思うようにならず
- ⑥ 結婚・家庭生活が思うようにならず
- ⑦ 子供や孫の健康・将来が不安
- ⑧ 被爆をかくして生きてきた
- ⑨ あの日のできごとが心の傷になって残った
- ⑩ とくにつらいことはなかった
- ⑪ その他 []

その内容を具体的に。

また、そのつらさを抱えながら生きてくるなかで、あなたの支えになったのはどんなことですか？

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	NA	計	回答者数
選択した人数(人)	376	614	1176	160	107	145	775	406	639	54	156	95	4703	1612
回答者数に占める割合(%)	23.3	38.1	73.0	9.9	6.6	9.0	48.1	25.2	39.6	3.3	9.7	5.6	291.3	100

【全体の傾向】 自由記述のあったもの 64.3%

被爆者の多くが、被爆から60年経った今なお、「あの時」を抱えていることを強く感じさせるのがこの回答の特徴。「特につらかったこと」については、大きく3つに分類される。一つは、被爆の影響に関するもの。体の傷や病気・死への恐怖、また、被爆による差別（結婚、妊娠など）、遺伝への不安など。二つは、生き残った後ろめたさについて。肉親や友人を原爆で亡くす中、なぜ自分が生き残ったのか苦悩を綴る回答。三つは自責の念について。被爆直後、瀕死の重傷を負った人を助けられなかった、水をあげなかったことを今でも後悔している回答が多くあった。「あなたの支えになったこと」については、家族の愛情の他に、亡くなった人への思い、そうした人達の死を無駄にしたいくないという気持ち、そして、被爆体験を伝えることが生きる支えとなっているという回答が多く、平和への願いや核兵器廃絶、二度と被爆者をつくらないという思いにつながっていることがうかがえる。

●社会人になってからも病院とは縁が切れず、60歳をすぎた今も入退院してる有様です。自分自身の辛さもありますが、とくに残念に思う事は、母親が（証人の問題で）被爆手帳取得出来ぬまま白血病で死亡したことがとても辛く哀しい、また口惜しい思いです。また私自身病気ばかりの人生で終わりたいありません。せめて亡き母の分も生きたい気持ちです。

0110002 (長崎 入市 女 2)

●夫を失って60年、一口にどういっていいかわからない。親子（母子）2人で暮らすことの辛かったこと、忘れられないが子供が支えであった。一緒に死を考えたこともあった。苦しみながらも生きていることは若い者に言い残さなければいけないことであろう。

短歌 振り返りまた前向きにと60年 今日生かされて 八十路の坂を

3410063 (広島 入市 女 26)

●つらい時には人間として修業だと思い、自分をはげまして来た。

母の死（母50歳、姉30歳、弟14歳、9歳、5歳）自宅被災焼失。げんかんの防火用水のそばで（昭和20. 8. 12日ころハッキリしない）煙が出ているのでほって見ると、頭がいこつが出て来て、その下にいつもの見えていた着物の柄が出てきた。母の着物（カアチャン、カアチャンと何度も呼んで！！）私は一人になったん

だしっかりして行こうと自分にちかい、くじけなかった！つらい時には（母の頭がい骨、支えになった）を思い出し、自分をはげまして苦勞の中にたのしみを作って生きてきた。私15歳の少女に世間はつめたかった。涙しながら記入しました。病氣中で思った通り書けなくて答えになりましてでしょうか？ すみません。かん字も忘れがちではずかしいです。

イラン、イラクの子供たちを思う今日この頃です。

2710012 (長崎 入市 女 15)

●子供たちが成人するまでは被爆者だとかは話はない。8月6日のテレビも見ない。やっと子供たちが結婚し、孫が生まれ、また孫が子を生み、それぞれ被爆者姿でなく喜ばしい事。

被爆体験のカタリをとたのまれますが、そんな話が出来ますか。私の奥底まで60年間被爆死の姉の悲しい思いがあるのに。毎日毎日お水を上げて仏様にお参りしています。嫁いだ家の仏壇と一緒にさせてもらい。60年戦後だけど姉の姿は21歳です。

核兵器の悲惨さは語られてきた、でも生き残った人々がどんな思いで戦後を生きたかはあまり語られることがなかった。誰れも語っても8月5日の元の姿にはもどらないのでガマン、ガマンの60年だったと思う。61年も同じ事。

4510001 (広島 直爆 女 17)

●20歳代で頭髪が薄くなり、また自殺をしたいと真

剣に思った。

放射能をあびて現在病気がちな体で毎日が不安でした。仕事も一人前出来ず、収入は上がらず、上司から意見を言われ、細々ながら現在迄来ました。

今過去をふり返って自分の人生は何であったらと思う様になりました。

鉄道自殺をしかけた時、奇跡的に助かって、駅員の方から、若いのに生を捨てないで、後生で自分に出来る事が有るでしょうと諭されて生きがいを感じました。

4010010 (広島 入市 男 18)

●あの日のことを忘れたくても体が忘れさせてくれません。

3410050 (広島 直爆 1.4 女 12)

●悲惨な戦争の犠牲になり、現在も被害者は後遺症の中に病苦に侵され、自分の生きる時間を原爆に支配されている。被爆は半世紀をはるかに越えてもなお、自分の身体と心の中に消える事なく今も続いている。

2810026 (長崎 直爆 2.3 男 12)

●被爆後原爆症で死を宣告されていたことが脳裏から消えず、30年ほどの間、度々死の恐怖に襲われて苦しんだ。子供や孫が、癌、橋本病になり、心の休まる事が無い。

支えになったものではないが、孫が成人するまで、子供たちが倒れないでいてくれることを願っていろいろ心身に苦しみを背負って生きてきた。今、孫が私の被爆体験を語り継いで行きたいと、語り部の会場に同行して何度か話を聞いているのが喜びです。

0110023 (広島 直爆 1.7 女 22)

●就職と結婚については問題が多かった。

リスクを持った人よりリスクのない人を選ぶのが人間の情だから、仕方がないと思うようになるまで時間がかかった。自分は悪くないのに、ヒバクさせられたのに、それが人生の負になったことへのイカリは大きかった。

1310008 (長崎 直爆 0.65 女 9)

●被爆を隠して結婚した。その後病気がちの身体は、とくに当時の農業はつらいものであった。静養の分だけ両親や、とくに嫁や、嫁の里の兄に負担をかけた。何年も経ってから被爆であることが知れた時、義理の兄に(その事が分かっていたら嫁によこすではなかった)といわれた時、申し訳なく返す言葉がなかった。

1710016 (広島 直爆 1.8 男 19)

●昭和44年に結婚して他県にきて義母が一番さいしょにいった言葉が「子供生んだらきけい児が生まれる」といわれました。私は女の子一人しかいません。生まれた時夜中にはだかにして全身しらべました。まともに生まれてくれてほんとうにうれしくて、うれしくてなみだがとまらなかつたです。被爆さえてなかつたら……とつくづく思いました。

わたしには死ぬまで不安ばかりの生活だと思います。

孫のことも心配だし、ぜったい戦争は反対です。

1710002 (広島 直爆 1.8 女 4)

●子供から被爆者とは言わないで、結婚できないと言われた。苦しかった。

家族五名死亡して、私が生き残った事で、家族や原爆死した人々のとむらいを、祈りをと、朝夕に神仏に祈る事です。これは被爆した者でないと解らない。子供には一口も言った事はない。

4010057 (長崎 直爆 1.9 女 18)

●自分自身の顔、両腕、足、その他全身の傷あとがある為、被爆者であることをかくすことも出来ず、長女の結婚適齢期にはどんなに苦しんだかわかりません。いろいろの話が、それが原因でくずれたことも多々あり、子供に対して申しわけがない思いで一杯でした。ついに現在までそれは続き、中年になった娘に私共の介護をたのまなければならぬ状態です。この娘の老後はやはり国がみてほしいものです。

4010023 (長崎 直爆 2 女 23)

●数十年カメラのフラッシュがこわかった。飛行機の音がすると身のちぢむ思いがした。

夫には被爆したことは伝えたが、くわしいことは話をしたことがない。子供や子供の結婚した相手に話さなければ、話せばどんなに楽になるか、それより伝えて行かなければと思うのですが、涙が出て混乱してしまうのです。

9910002 (広島 直爆 3 女 8)

●被爆した事を本当にかくして生きて来ました。いつ病気になるか、いつまで生きているだろうと考えて、うつ状態になった事もありました。

あの日の出来事は死ぬまで忘れる事はありません、ひと時も。

4210006 (広島 受診者証 女 24)

●なんといってもあの日の地獄絵は、若き16歳には心的ショックは永遠に消え去ることはできないはずで。頭の毛が薄くなっても、夢遊病の状態になっても何の治療もなく生活していたのです。自分の健康に不安があったのは確かです。それでもこの国を興すのは若者であると、希望に燃え大きな夢をいできて生きてきたはずなのにとすると、今日の現実を見るたびに、今の生涯は何だったのかと悔やむ思いで一杯です。

0710005 (長崎 救護 男 16)

●8月9日の朝、いつもと変わらず一緒に朝食をすませて元気よく大学に向かった兄、間もなく「忘れ物をした」と急ぎ戻ってきて「では、行ってくるよ」と玄関で別れた兄。その姿と言葉が兄の最後であった。忘れ物で戻ってきたのは別れを惜しむ虫の知らせだったかと思ひ出して悲しい。11時2分の閃光が原爆炸裂の瞬間だったことなど知る由もなかつたが、その時すぐ爆心地に駆けつけて兄を探し助けることが出来なかつたこと、原爆直下の恐怖、苦しみや痛みを少しでも分かち合うことが出来なかつたこと、最後の水を求め倒れている人々を見ながら何も出来ず無力であったこと

など、やるせない心の傷が残っている。
結婚し、子供や孫も生まれ平凡ながら平和な家庭を築き心の支えともなったが、若くして夢多き将来を奪われた兄のこと、同じく犠牲となった親族、友人、多くの人々の無念、当時の惨状が今なお脳裏に焼き付いて生き延びていることの後ろめたさを覚える。

4310168 (長崎 直爆 2 男 16)

●多くの瀕死の被爆者が、助けて欲しいと差しのばす手を払いのけて、走り去った私の非人間的な行為に対する私自身の嫌悪感。更には、私が払いのけた人(おそらくすぐに亡くなられたと思う)に対する私の罪悪感。私は、このことは在職中ずっと私の心の中に封印し、ひとりで悩み続けていましたが、退職後(丁度被爆50年の節目の時ということもあり)「被爆者の自分史」を書いたことにより、すべてを吐き出し、気分的にはいくらか楽になった。

4210009 (長崎 直爆 4 男 16)

●大やけどと傷ついた人はしきりに水を求めています。血の叫びとは正にこのことです。しかし私たちは軍(上官)の命令により水を飲ませてやらなかった。必死の

形相でにじりより水筒をやつとの思いで掴んだ彼の手を振りほどいた自分の態度が悔やまれてなりません。今でも自分を許すことは出来ません。

3歳4カ月の次女が大病になり、主治医に頼んで水を脱脂綿に含ませて飲ましたところ非常に喜んで吸い付いた光景が浮かびます。術後死亡(47年前)。

2410014 (広島 救護 男 19)

●支えにして来たことは、親友の死、そしてあの日わけもなく殺されて行った多くの人々、また戦争で命をうばわれたアジアの人々も含めての死を犬死にさせたくないこと。それは再び戦争を起ささないこと、被爆者を作らないことだと思って、平和運動にささやかに協力して来た、生き残った被爆者の仕事だと思って。

2610002 (長崎 直爆 3.4 女 13)

●被爆者運動にかかわってから、日本政府の放置、原爆投下の米の犯罪行為を実感し、悲しさを、怒りに変えました。そして、他の仕事は止めても、ヒバクシャをやめることはできないという決心が、今の行動の支えになっています。

3810005 (広島 直爆 4 男 17)

問3. 被爆者として、今とくに心にかかっていることはどんなことですか？

(いくつでも選択可)

- ① 自分の健康 ② 自分と家族の生活 ③ 子や孫の健康 ④ 原爆で死んだ人たちのこと
⑤ また核兵器が使われるのではない ⑥ 日本がまた戦争する国になるのではない
⑦ その他 []
その内容を具体的に。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	NA	計	回答者数
選択した人数(人)	1123	366	807	701	1056	844	89	96	5082	1612
回答者数に占める割合(%)	69.7	22.7	50.1	43.5	65.5	52.4	5.5	6.0	315.2	100

【全体の傾向】 自由記述のあったもの 58.3%

この問いの回答には、被爆者の過去・現在・未来が詰まっている。原爆での死者の姿や被爆当時の様子をまぶたに焼き付けられたまま、病気や不安定な健康状態に悩まされてきた今日まで。自らのことはもちろん、それ以上に子孫の健康を気遣い、責任を感じながら、再び核兵器が使われかねない世界情勢に危機感を覚える現在。そして今後は、日本が戦争をする国にならないでほしいという思いから、政治家への警告、若い世代への激励など、厳しく力強い回答が多く見られた。

●被爆者はガンの罹患率が非常に高いと言われていますが、私は平成9年70歳のときに右尿管に悪性の腫瘍ができ、それが原因で尿管と右腎臓を切除しました。それから3年経った平成12年に左尿管と膀胱に、更に平成15年にはまた々膀胱に同種の腫瘍ができ、本年(17年)1月にはまたもや同種の腫瘍で年の始めより大学病院に入院して手術治療を受けています。目下は自分自身の生きることです(現在入院中)。

4510011 (広島 直爆 3 男 18)

●被爆60年を迎え、健康不安はつるばかり。突如としておこる口では表現のしようのない「だるさ」関節が抜けるような虚脱感、夏場に多い貧血、息切れ、めまい、被爆健診のたびに「要観察」の指摘。子供や孫に、年齢を重ねて、私のような症状が出なければ…と不安な日々。

原子爆弾という人類史上最大の罪……世界はどのように認識しているのだろうか？

3510015 (広島 直爆 1.8 男 14)

●現在87歳になった主人が、あの時のことで心の病

となり、現役時代は仕事にまぎれていましたが、老い
てから段々とひどくなり、今も心療内科に行ったり、
のどの痛みや呼吸困難になる時もあり、病気の為家族
が目を離せず苦勞しています。家で戦争の話をしたり
テレビで戦争の様子を見ると、その病が悪化すること
がわかるのですぐ止めてしまいます。

4010023 (長崎 直爆 2 女 23)

●自分の健康はもちろんですが、被爆二世である子ども
たち、孫ができたなら三世と呼ばれる彼らたち「努力
しても生涯健康を保障できない」事を伝えるべきかど
うか悩む。

4210034 (長崎 直爆 3.7 女 5)

●被爆二世の長男が高校の頃より統合失調症で、私も
心を病んでいます。心に病を持ち、障害に苦しみ、偏
見の目で見られる。一番苦しんでいるのは長男で、私
も支えようとがんばっています。家族会もよびかけH
8年より今は主人も会計をして手伝ってくれるよう
になりました。親なきあとどう生活して行くのか？心
にかけ、家族会にて勉強している被爆二世の健康健診
も一年に一回受診させている。被爆二世も被爆手帳を
もたせたいです。

2710012 (長崎 入市 女 15)

●まだまだ偏見があり、孫の結婚のことも考えて、被
爆者であることは地元で決していわないことにしてい
ます。

ずっと昔、被爆手帳を出した時、個人病院の看護婦さ
んから「子供さんは正常ですか」といわれたことを忘
れることができません。

4310140 (長崎 直爆 3 女 14)

●マイナスからの出発で今だに生活苦に悩んでいます。
いくら頑張っても行きつくところは、老人になっても
それは変わらない。自分で選んだ人生ではないのに、
不幸を被爆した時から背中にしよって生きています。
こういう生き方を子供たち、孫たちには送って欲しく
ない。

4010054 (広島 直爆 1.5 女 6)

●被爆後家族はばらばらになり、市内でのバラック生
活は食べる物もなく、人間性を否定する生活を強いら
れた。生きるためとは言え道徳を踏みにじり、他人の
物に手をつけ、多くの悪事を働いて生きてきた罪。自
分は罪深い生き方をして来たという自責の念に、今後
どう生きるべきだろうか悩む。

3410027 (広島 直爆 2.5 男 11)

●一発のピカドンで孤立無援のまま死んだ人たち。因
縁、運命、納得…が通用しないまま不意に無防備のま
ま、それも人間の尊厳まで侵されて亡くなった人々の
ことを思う時、8月9日の心を込めての大慰霊祭にも、
亡き人々の魂は絶対に癒されることはないと思いま
す。尽くしても尽くしても物足りない命の代償では
ないでしょうか。我が身の力不足をなげきます。

時が進むにつれて風化されることは必定です。無念残

念と思いながら、今なお生き残っている身を申し訳な
く思う今日です。

4110014 (長崎 直爆 2 女 26)

●慢性再生不良貧血症、狭心症、大腸ガン、前立腺ガ
ンなどで苦しんでいる。

子供も大人も、幼児も老人も、女も男もすべての死者
には価値ある未来があったのに、それを思うと無念と
いうより怒りに体が震える。

憎しみの感情にはしつての弾みの核使用が心配だ。

憲法改悪により、すべての戦争を肯定し可能にしてい
く。復古どころの騒ぎではない。

3410079 (広島 直爆 1.2 男 20)

●かつてアメリカが原爆使用に踏み切った理由は連合
軍の犠牲を少なくするため日本に潰滅的な打撃を与え
ることにあつたという。再び世界の何処かで戦争が起
こり、対戦国の中でこの論理が働く恐れがないか。

1220063 (広島 入市 男 18)

●原爆の被害の実相は、正確に伝わっていないのでは
ないか、従って、再び核兵器が使われることもあるの
ではないかと不安である。原爆の実相を知らないとい
うことは恐ろしいことである。

0410018 (広島 入市 男 28)

●テロリストが厳然と生きているので、彼等が核を手
に入れ使う可能性が大きい。

3410075 (広島 直爆 男 14)

●日本も将来核武装するのではないか？

4210025 (長崎 入市 男 18)

●政治家になると九条なんか過去のものなのでしょう
ね。また再び60年前にもどる感がしないでもないで
す(きけんです)。

今日本は、中国、韓国、北朝鮮などから太平洋戦争時
代の補償を際限なく求められています。こんな事も総
合的に考えてもらいたい。

今若い人たち、高校生、大学生など、核兵器廃絶のた
め署名活動を行っています。議員、首相、政府、諸々
どれだけしんげんに考えているのか、国民の気持ちや
訴えはとどいていないように思う。

8月8日から学校の寮に泊まっていたが、上級生がこ
の夜とてもにぎやかで、月の明かりを浴びながら、た
のしい一夜をすごしたことがわすれられない(上級生
は軍需工場で多くが死傷)。

4210029 (長崎 直爆 4 女 13)

●今後、息子や娘たちが、孫が戦争体験をしないよう、
ただそれを希望します。12歳で可愛想な死に方をし
た弟と、中学3年の男の孫が、時々二重写しになり、
胸が切なくなります。絶対戦争反対です。

目が悪いので、乱筆乱文ですがお許し下さい。これ
でも一生懸命書きました。

4010094 (広島 直爆 0.8 女 15)

●私の青春時代は戦争で一番楽しいはずの20歳でし
た。今世紀の政治家は戦争を知らない政治家ばかりに

なり時代が物騒になって来たような感じがします。特高や憲兵の姿が見えないだけで国会の風潮を見ていると戦時の独裁に似てきているようにも感じます。

0110007 (長崎 救護 女 19)

●自衛隊をイラク戦場に派遣しているということは、再び戦闘をする国になる布石であると思う。即時撤退を要求します。

憲法9条を守り、何れの国のためにも兵士が出て行ってはいけない。戦時中の出征兵士を送り、そして遺骨を迎えた光景がまざまざとよみがえってくるのです。アフガニスタンやイラクでの劣化ウラン弾による子供たちの被害の写真を見るたびに、60年前のあの日あの時がまざまざと思い出され胸が痛みます。もうごめんです。あんなむごい兵器は地球上から一日も早く無くさなくてはならないのです。

3410004 (広島 入市 女 16)

●私が小学校4年生の12月8日第二次大戦がはじまりました。

私は日本人として日の丸を大切に思っていますが、教育の場でのおしつけに過去に聞いた軍靴の音が聞こえてくるような思いがします。

国民の知らないうちに日本が戦争への仲間入りをするのではないかと思うのです。国民が主権者としての自

覚を持って政治の在り方、国際社会での在り様をじっと見きわめ、反対と言える強い意志を持っていなければ、あやまちをおこすのではないかと不安です。

3410029 (広島 直爆 3 女 14)

●最近の戦争を知らない若い政治家や、反動的とも思える保守的な人たちの言動や、小泉首相の盲目的に靖国に行く姿勢を見ていると、日本がまた戦争をする国に落ちていく様に思われてなりません。大変な犠牲のもとに生まれた、戦争放棄の9条を持つ平和憲法と広島原爆慰霊碑の誓いの言葉を絶対に忘れてはなりません。

1220042 (広島 直爆 4.5 男 15)

●憲法改悪と九条のことです。日本の九条を世界の憲法にと望む人たちが世界中に大勢います。被爆国日本の進む道は、反核・平和(環境、飢餓、病気、あらゆる差別他を含めて)に徹する事です。そのときは日本は世界から尊敬され、どの国からも非難されないでしょう。焦土から立ち上がって国民たちの心からの願いは憲法に盛られました。改悪してはなりません。日本は間違った道を歩み今また後戻りの出来ないところに大きく踏み込もうとしています。

1310039 (広島 直爆 女 14)

問4. 原爆被害の責任はどこにあると思いますか？

[あなたの気持ちに一番近いもの1つを選択]

- ① アメリカ政府 ② 日本政府 ③ 日米両政府 ④ 戦争だから仕方がない
⑤ その他 []

	①	②	③	④	⑤	NA	計(=回答者数)			
選択した人数(人)	334	157	917	92	17	95	1612			
回答者数に占める割合(%)	20.7	9.7	56.9	5.7	1.1	5.9	100			

【全体の傾向】

原爆投下の直接責任をアメリカ政府に求める傾向は強いが、戦争開始責任、終結を遅らせた責任、戦後の放置責任などは日本政府に求める傾向があり、結果として日米両政府ともに責任があると考えられる被爆者が多い。なお、この項目は自由記述を求めてはいなかったが、書いてきた被爆者は多い。

●アメリカへの憎しみは一生消えないでしょう。ヨーロッパへは行っても、私は決してアメリカへは行きたくないどころか、怨んでばかりです。

4010041 (長崎 入市 女 14)

●戦争を始めた日本政府も悪いですが、もう敗戦は時間の問題となっていた時に原子爆弾を落とす必要はなかったと思います。アメリカは自分たちが開発した原子爆弾をテストだけではあきならず、実際に人間に使ってみたかったのでしょう。戦後被爆地にやって来たアメリカ軍は、負傷者の手当てはせず、人体に与えた影響の調査だけでした。

4110015 (長崎 直爆 1.5 男 15)

●非戦闘員である一般国民を、核試験のために広島・長崎に投下せしは断じて許されない。今だに核を保有し世界の国に圧力を加えている。

1710008 (広島 入市 男 18)

●補償はアメリカにして貰いたい。

4010096 (広島 直爆 2 男 25)

●戦争だから仕方がないと言う声も聞きますけど、核を使う等絶対に赦されない。日本を焼土と化したあの恐ろしい原爆を作ったアメリカ政府は絶対に赦せないと思う。

4010028 (広島 直爆 4 女 29)
●学校時代キリスト教を学びました。そのキリスト教徒の多い米国が、他国の人々に戦いや加害を作るのか、自国の平和と国民の幸せを祈り、平等にを守って欲しいのです。

1710014 (長崎 入市 女 22)
●戦争が良いとはいわないが、ミッションスクールを出ているので米国を悪くいうのはいやだ。先生はアメリカの人もいた。

1710028 (広島 直爆 3 女 23)
●昭和の初め頃から、武器もないのに、世界を相手に戦争したのが日本政府の間違いだと思います。

3410001 (広島 入市 男 14)
●日本は神国と信じて、絶対勝利すると大国を敵として戦争したことは許しがたいです。

4010059 (広島 入市 女 13)
●大東亜戦争は反戦論者は非国民と言った軍国主義日本政府の無謀とも言われる戦争の責任と思う。

3410038 (広島 直爆 2 男 13)
●開戦と侵略は日本帝国政府にあるのだから！

1210008 (長崎 直爆 4 男 9)

●天皇はもっと早く敗戦を認めなかったのか。せめて東京大空襲前に。

3810004 (広島 直爆 1.9 女 16)
●戦争だからとあきらめの気持ちの中、日本の指導者がもう少し決断を早く、終戦を決意していたら犠牲者も少しは減ったと、くやしくてならない。

1410016 (長崎 直爆 0.7 女 15)
●日本も開発力があつたら原爆作ってたかも。

1220052 (広島 入市 男 8)
●戦争は日本が始め、原爆はアメリカが落とした。

1310019 (長崎 直爆 1.2 女 15)
●責任の根本は原爆を投下したアメリカである。しかしその後の日本政府がとって来た被爆者に対する国家補償をしない政策はなお悪い。

2310023 (長崎 直爆 0.5 男 16)
●各々理由はあるが喧嘩する奴は両方悪い、日頃から争いの元を作らないよう努力する。

4410019 (広島 直爆 4.9 男 27)
●戦争だから仕方がなかったのか？ しかしそれは何の為の戦争で誰の為の戦争だったのかと思っています。

1310050 (広島 直爆 2 女 16)

問5. いま、被爆者として、アメリカ政府や日本政府にこれだけは求めたいと思うことはどんなことですか？ A. アメリカ政府に対して [いくつでも選択可]

- ① 被爆者に謝罪すること ② 自国の保有する核兵器を率先してなくす ③ 核兵器不使用宣言をする
④ 核脅迫外交をやめる ⑤ 国連を尊重する ⑥ 他国を武力攻撃するのをやめる
⑦ その他 []
- アメリカ政府へのあなたの思いを自由に。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	NA	計	回答者数
選択した人数(人)	902	993	1120	651	843	933	76	115	5633	1612
回答者数に占める割合(%)	56.0	61.6	69.5	40.4	52.3	57.9	4.7	7.1	3494	100

【全体の傾向】 自由記述のあったもの 54.3%

「自国が核兵器を持ちながら、他国が核兵器を持つことに文句を言うのはおかしい」、アメリカなどの核保有国が率先して核兵器廃絶のリーダーシップを発揮すべきという声が圧倒的に多い。また、昨今の世界情勢を反映してか、核兵器だけでなく戦争そのものをするなという記述も多い。

●ヒバク以来60年米政府や軍から一片の謝罪のコトバも聞いたことはありません。これは原爆を使ったことを罪と考えていない証拠です。人類史の中でこれほど大きい罪はないと思います。

2710004 (広島 直爆 2.8 男 18)

●まどへ！ (編註=つぐなえ)

4010018 (長崎 直爆 3.5 男 17)

●原子爆弾は8/6広島、8/9長崎まで、海を渡りアメリカより歩いて来ました。人の手で投下されたのでしょう。だから人災です。それを素直に認めなさい。

2310014 (長崎 直爆 3.1 女 18)

●謝罪と補償を求めます。日本政府は近隣諸国に与えた罪業のつぐないをしなければなりません。と同時にアメリカも遺伝子にまで影響を与えた被爆者につぐないをすべきものと考えます。

1310019 (長崎 直爆 1.2 女 15)

●ヒロシマの被爆者はアメリカに対して〈アメリカを恨むことも憎むこともなく、それをのりこえて核兵器廃絶を訴えている〉といわれる。確かにそのような人もいだろう。しかし私はアメリカが非人道的行為を認めないかぎり死ぬまで恨み、憎み続ける。絶対に許さない。

3410073 (広島 入市 男 13)

●アメリカ政府は今もって広島、長崎へ原爆投下した
ことについて謝罪をしていない。これは人類に対する
大きな犯罪です。私はアメリカという国は好きですが、
この点については許すことはできない。

4310088 (長崎 直爆 2.5 男 10)

●原爆投下は実験だから、政府指導者を許すことはで
きないが、アメリカ国民に罪はない。

3410075 (広島 直爆 男 14)

●アメリカ国民が悪いのではない。国の政府指導者が
自戒すべきである。

4410016 (広島 直爆 1.8 男 16)

●子供や老人等が無差別に殺傷したことは、明らかに
戦争犯罪であり、ぜひ謝罪してもらいたい。他国の核
兵器に文句を言うのなら、まず自国が無くすべきであ
る。核兵器不使用を宣言せよ。

3410070 (広島 入市 男 19)

●初めに使った国が一番に廃棄を唱えるべきであり、
それが一番の説得力。

3410081 (広島 直爆 4 女 14)

●人体実験の標的にされたと思う。もっとおこるべき
だと思う。原因はともかく、原爆投下の責任をとって
ほしい。自国の核保有使用の責任がありながら他国を
せめるやり方はごうまんそのもの、許せない。

9910002 (広島 直爆 3 女 8)

●老人、婦女子、子供たちの非戦闘員を一瞬にして大
量殺戮する原子爆弾の使用は断じて許すことはできな
い。先ず自国の核兵器を率先して完全になくし、模範

を示せ。国連の平和理念を尊重し、核廃絶に真摯に取
り組め。

0410027 (広島 入市 男 17)

●世界で最初に核兵器をつくったのはアメリカ。それ
を人の上に爆発させたのもアメリカ。そして更に放射
能を利用した兵器を開発し使い続けているのもアメリ
カだけ。そのアメリカが「イラク、北朝鮮で大量殺人
兵器をつくらうとしている」と圧力をかけている。な
んと矛盾した話だろう。もう戦争のない世界をつくる
ことしか解決の道はない。一番悪いのはアメリカだ。
暴力ではなにも解決しない。

3410011 (広島 直爆 1.3 女 19)

●被爆者に謝罪しても、核を保有しては意味が無
い。自国が核を保有していて、他国に造るな、持つな
といっても、説得力は無い。原爆投下は正当だったと
いうのならば、その被害の真実をはっきりと正確に公
表して核兵器が人類と共存出来るものであるかどうか
を世界に問うべきである。

0110023 (広島 直爆 1.7 女 22)

●核兵器使用は世界最大のテロ。

0710003 (広島 入市 男 28)

●あの一発（実際には二発）で戦争を終わらせること
ができたと言うことらしいが、そのため何十万と言う
人が一瞬にして生命を失い、その何倍もの被爆者がど
んなに苦勞してきたか、そして60年も経った今尚、
苦しんでいる人が30万人近くいる現実を直視してほ
しい。

4010093 (長崎 直爆 3 男 19)

問5. いま、被爆者として、アメリカ政府や日本政府にこれだけは求めたいと思
うことはどんなことですか？ B. 日本政府に対して [いくつでも選択可]

- ① 原爆被害への国家補償を行う ② 被爆の実相を世界に広める ③ 非核三原則を堅持する
④ 被爆国として核保有国に核兵器廃絶をせまる
⑤ 日本の戦争を反省し、その犠牲となったアジアの人々に謝罪・補償をする
⑥ 憲法9条を守り戦争によらない平和外交をすすめる
⑦ その他 []

日本政府へのあなたの思いを自由に。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	NA	計	回答者数
選択した人数(人)	1054	1097	976	1096	658	1040	80	140	6139	1612
回答者数に 占める割合(%)	65.4	68.1	60.5	68.0	40.7	64.5	5.0	8.7	380.8	100

【全体の傾向】 自由記述のあったもの 59.6%

日本政府の戦争責任という文脈で原爆被害への国家補償を求める記述と、アメリカのいいなりになるなという記述がたいへん多い。こちらも、昨今の情勢を反映してか、憲法（とくに9条）の維持、どんなことがあっても日本は戦争する国になってはならないという記述が目立つ。

●あの原爆地獄をくぐり抜けその歳月被爆者それぞれの
苦渋の生を送って60年。まだ被爆者には戦後は訪

れない、死に至るまで。
被爆者運動と世論に圧倒されて止むなく制定されたあ

の援護法も真の国家補償に基づく被爆者の願いとは程遠いものであり、国家補償の精神に基づく援護法の制定を望むものであり③④⑤⑥の諸項は遵法してもらいたいものである。

0810001 (広島 直爆 2 男 24)

●戦争では沢山の方々が亡くなり、沢山の物を失いました。傷つきました。とくに被爆者は残留放射線で体がぼろぼろになっていますが、日本政府は私たちに謝罪も補償もありません。60年たった今、被爆者は年を取りました。政府からの謝罪と補償を待っているのです。そして憲法9条を守り戦争のない平和な国であることを願います。

0110024 (長崎 直爆 6 女 7)

●国は正義の為の聖戦と国民を騙し、あらゆる苦しみと悲しみを押しつけた。私は阪神大空襲で火の雨を浴び、実家は焼失しその2カ月後広島で被爆した。被爆者が抱く心身の苦しみは、語っても、語っても尽きるものではない。1960年初めて大衆の前で訴えた時、「私のように、生涯苦しまなければならない被爆者を絶対につくってはなりません。世界中の誰をも、例え戦争をしている敵であっても」と訴えた。以来45年間訴え続けて来たが、それは決して楽しい仕事でも、嬉しい仕事でもない、神経を磨り減らす思いで訴えている。理解してもらおう為には一番触れたくない部分に触れなければならないからだ。このような思いをしながら核廃絶を訴える被爆者の声を、日本政府は一度でも世界に向かって「心して、聞け」と訴えたことがあったらどうか？ 政府の責任で始めた戦争で被爆者はつくられた。原爆被害に対して国家補償は当然の償いである。戦争だからと受忍出来るものではない。

0110023 (広島 直爆 1.7 女 22)

●私被爆をして爆風にとばされ、こんな毒とは思わず、どうしてこんなに体がだるいのか、また頭の毛はぬけて、歯は24歳の時に入れ歯の有様。仕事も出来ない、どうもする気が起こらない。またそんな有様で、ある人が金が無くなって私は警察に呼ばれたこともありました。

会社に入社しても突然熱が出て無断欠席することが多いので会社方からすぐに首となり、そんなことで社会保険も思うようにはかけていません。厚生年金も人の3分の1くらいで生活も出来かねます。何とか考えて下さい。

3410054 (広島 入市 男 14)

●被爆者も高齢化により少なくなる。政府も生存中に対策をたててもらいたい(補償)。在外被爆者にも平等に。

1010002 (長崎 直爆 4.5 男 17)

●被爆のむごさを知っているのは被爆者のみ。日本国民の90～95%は原爆放射能汚染の恐さを知らない。忘却の彼方だ。日本は被爆の実態を世界に知らしめるべきだ。日本がしなくて何処の国がするのだ。

1710012 (広島 入市 男 19)

●政府は世界に対して、原爆の非人間性、被爆後の永年に亘る精神的、身体的苦痛の実状を訴える努力を強力に進めて欲しい。被爆時の惨状が風化するのを待っているような気がしてならない。

4610003 (広島 直爆 2.1 男 19)

●文部省は原爆投下による昭和20年8月6日、9日の惨状からその後の60年に至る現状を風化させないよう、小、中、高、大学の若者に事実を是非教科書に残すことに。アメリカに遠慮は要らない。是非教科書に。

4310169 (長崎 直爆 2.5 女 18)

●私の知人が自分たちには原爆は関係ないとか、広島、長崎の人たちは前世が悪かったから仕方がないの発言に、同じ日本人でもこんな無神経な人々がいると思うと、強い憤りを感じる。原爆を落とされたことによって戦争が終わったので、アメリカ国に感謝しなければとの言葉にも唾然とすると共に原爆の恐ろしさを知らないとは言いながら酷い！！と叫びたい。被爆者一人一人の証言も大切だが、国が全力で原爆の悲惨さをもっともっと広げ伝え続けてもらいたい。

4010059 (広島 入市 女 13)

●政府は国連の場で8月の広島・長崎での追悼式典の挨拶で「唯一の被爆国として」という言葉を平然と使うが、口先で軽々しくいってほしくない。数十万の死者の1人1人の死と苦しみの人生を知ろうともしないで！「唯一の被爆国」というのなら、今原爆症の認定を求めて命がけの裁判をしている人たちに目を向け、直ちに被爆者行政を改めるべきです。

いつまでもアメリカ政府の腰巾着になっておらず、アメリカの核の傘からぬけ出し、平和外交を展開してほしい。世界中に核兵器ノー！の発言をしてほしい。人間の命に目を向けよ！

1710003 (広島 直爆 2.3 女 4)

●戦争で迷惑をかけた国には謝罪と補償をチャント済ますこと。

原爆被害者へも国家補償すること。それが戦争をしない国となり、アジアの国々の方に安心感を与える。

1210002 (長崎 直爆 2.1 男 20)

●アジア諸国を侵略し、多くの人たちを不幸におとし入れた戦争を反省し、はっきりと憲法9条の理念を世界に示すこと。このままではふたたび被爆者をつくることに。

4010018 (長崎 直爆 3.5 男 17)

●国家補償してもらいたいが、他の戦争犠牲者、被害者も同じであろう。とに角、二度と戦争は絶対にしないこと！！

4010093 (長崎 直爆 3 男 19)

●戦死した夫の妻を優遇することは当然ですが、同級生でかいたく団で旧満州で犠牲になった人、銃後の守りで戦争にまきこまれた人にも支援の手をさしのべて

ほしいと思います。戦死者だけを美化するやり方は、また戦争をする下地になるように思います。

3410029 (広島 直爆 3 女 14)

●日本政府はどうしてこうまでしてアメリカににじりよらなければならぬのですか？ 今日本が出来ることは戦争を放棄し、武力をもたないという平和憲法と非核三原則をふりかざして、世界に平和をうったえることだと思います。武力で平和が来ないことはアフガン、イラクを見てもわかります。どうぞしっかり目を開けて、アメリカの方ではなく、国民の方を向いて下さい。再び国民に犠牲を強いないで下さい。

2610002 (広島 入市 男 19)

●子供が20歳になった時、徴兵検査がなかったことが一番嬉しゅうございました。どんなことであれ戦争は絶対反対です。

4310140 (長崎 直爆 3 女 14)

●憲法9条は何としても守ってほしい。

1210003 (広島 直爆 1.2 女 16)

●絶対に戦争はしてはいけません。してはいけません。シナイデクダサイ。もう一言シナイデ下さい。

2410020 (広島 直爆 男 21)

問6. いま、被爆者として訴えたいこと。次代の人々にこれだけは伝えておきたいと願うことがあれば、ぜひお聞かせください。

【全体の傾向】 自由記述のあったもの 67.4%

全体的に戦争・核兵器の使用反対や日米両政府への批判、心身の傷についての記述が大半を占めている。他の問いへの回答のなかに、それらに関するより詳細な説明や思いなどが盛り込まれているため、ここでは他の箇所では提示されないような記述を意識的に多く選択してみた。被爆者として次世代の人びとに訴えることそれ自体のむずかしさ、とまどい、期待などが記されている。この点からも「被爆者のいま」について推し量ることが可能だと思われる。

●戦前、戦中を生々の言葉で語れる人が、次々身のまわりから少なくなっていくことに「じゃあ私は何ができるの？」と自問の日々です。5歳の記憶を補う何かを得ないと“自分の言葉”を生めない——とあせっています。

4210034 (長崎 直爆 3.7 女 5)

●何をいい伝えたら良いのか思いがまとまらず、もどかしく思っています。

1710031 (広島 直爆 2.2 男 4)

●二度と被爆者を出さない様、他人事と考えず努力して下さい。体験者でないとなかなかわからないと思います。どう伝えたらいいかもどかしい思いです。

3810004 (広島 直爆 1.9 女 16)

●誰も聞こうとしない。自分の子供もまごも聞こうとしない。結局「戦争をしないほしい」。当時食べ物なかった。今の人には食べ物を大切にしないが、自分はそんなことはできない。

1710028 (広島 直爆 3 女 23)

●あまり当時の事は話したくない。当時の惨状を思いだしたくない。

4010037 (長崎 入市 男 17)

●戦争がどんなに家族のこころを傷つかせ、家族の未来をも変えてしまう。悲しい未来しかありません。ましてや子供の心を、兄弟、姉妹のつながりをも変えてしまいます。たとえ親が病になっても、一つ屋根の下で暮らすことがなによりです。私の様に戦争のおかげで疎開先が被爆されるなど、家族がバラバラに過ごさねばならなかった事は、本当につらい事です。おとう

と2人が犠牲になり、私1人が生きられていることも不思議であり、また、幸いですが、あの日の事は消去することがありません。

4210003 (広島 直爆 1.8 女 14)

●今では私が入退院のくり返しです。2004から3月まで4回も病気で苦勞してます。目が悪いしよみにくいですけど人に頼むわけにはいかず。手はふるえるしこれでいっばいです。ご免下さいませ。しんぞう ペースメーカー使用 じんぞう かんぞう こつそしょう 右は皆わるいのです。毎日毎日辛くて死んでしまいたい。

2310015 (長崎 入市 女 21)

●被爆二世になりたくないという長男だが被爆二世なのだ。心に誓ってもいいたくないです。口惜しいですよネ。

2310031 (広島 入市 女 7)

●何かを残して欲しい。今すぐ想いつかないけどムダに生きてきてないあかしを何かの形で残すこと、医療費など具体的に責任をとってほしい。

2310017 (広島 直爆 1.3 女 21)

●原爆は親と子供も助ける事は出来ないのです

3810001 (広島 直爆 0.7 女 22)

●2004年2月14日付全国紙に政府と防衛庁は広告をだした。「イラク再建のため、自衛隊は人道・復興支援活動を行います」と。人の生命が復興できるのか、できるならやってみる。

1410089 (広島 直爆 3.8 男 6)

●核爆発10秒間の事実と、その被害の事実を地球上のすべての人間が知るべきだと思う。そして、その放

射線をあびた人、熱線をあびた人、爆風の被害を受けた人が後々までどのような不幸に落とされるか知って欲しい。そして一人の人間として考えてほしい。そのような核兵器を人間の上に投下してよいかを。

3410002 (広島 直爆 4.1 男 17)

●放射能を使用する兵器は、その戦いだけでなく、末代まで影響が続くことや、赤ちゃんから老人まで、すべて等しく被る兵器である。無差別兵器は絶対使用禁止にすべきである。

0410049 (長崎 直爆 2.5 男 1)

●本心に書き残しても本当に守ってくれるか心配です。原爆のおそろしい事はだんだんと消えそうです。原爆は永久にしないこと、戦争をしないことです。戦争をしたら原爆が出てくる、被爆が出る。次代の人々に守らせてください。

3410054 (広島 直爆 男 20)

●平和は弱者を出さぬことから始まる。

0110015 (広島 直爆 1.8 男 21)

●戦争は勝っても負けても平和が続くと繰り返すようです。

2710017 (広島 直爆 1.7 女 7)

●だんだん薄れてゆくであろう戦争の哀れさ核の悲惨さを若い次世代の人々にもっともっとしっかり教えなければと思います。

平和な日本に生を受けたる僕たちには想像も出来ない事と思いますが私も中学生や大学生に体験談を話した時それこそ真剣に聞いてくれるのですけど果たしてど

れ位わかったかしらと何だか不安でたまりません。二度と再びあの様な日が絶対無い様に祈るのみです。

2310035 (広島 入市 女 24)

●60年の思いは書き現せません(平和を、平和を)。私たちの様な人間を作らない事です。自分はこの年齢までどうやら生きて来ました。亡くなった方々に申し訳ないです。この世に、未来に、また私たちのうけた、心を身体を造らない様にして下さい。

4010074 (長崎 直爆 1.5 女 27)

●被爆者が体験を語るのは被爆者意識からではありません。(筆舌につくせない体験でした。沈黙した、理由のひとつでもあります)このような苦しみを二度と世界中の人びとに負わせてはならないと願うからです。現在の世界を見ていると核の脅威は益々大きくなっています。近い将来被爆者は死に絶えるでしょう。被爆者のみが話せる実体験を残し被爆者だから痛切に願う平和への思いが、次代、次々代の人々に伝わる事を願います。

1310039 (広島 直爆 女 14)

●『二度と被爆者を作ってはいけない』次代の人々に私共の苦しい体験を伝えて、新しい若い目で日本を作って行ってほしい。若い方々の発想にまた発言に目をみはることがあります。健康な心と身体で物を見つめて支えて行ってほしいです。若い人には時間と夢があります。

1610003 (長崎 直爆 2.8 女 14)

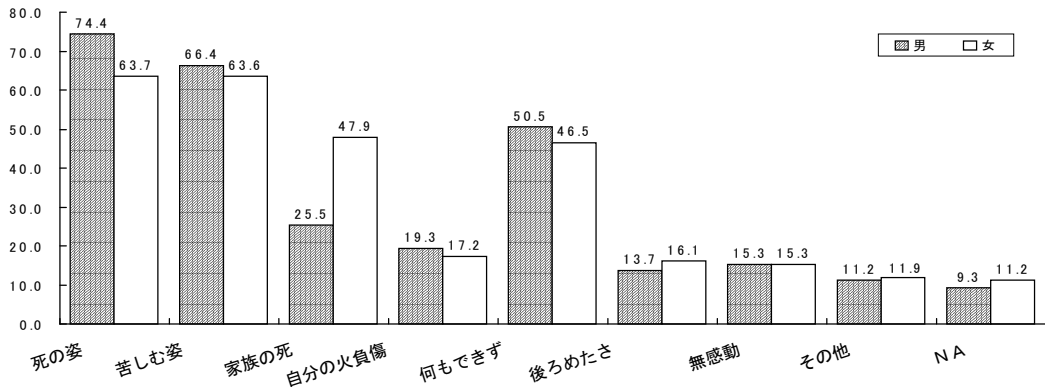
選択項目等の中間集計 (抜粋)

1. 回答者の属性

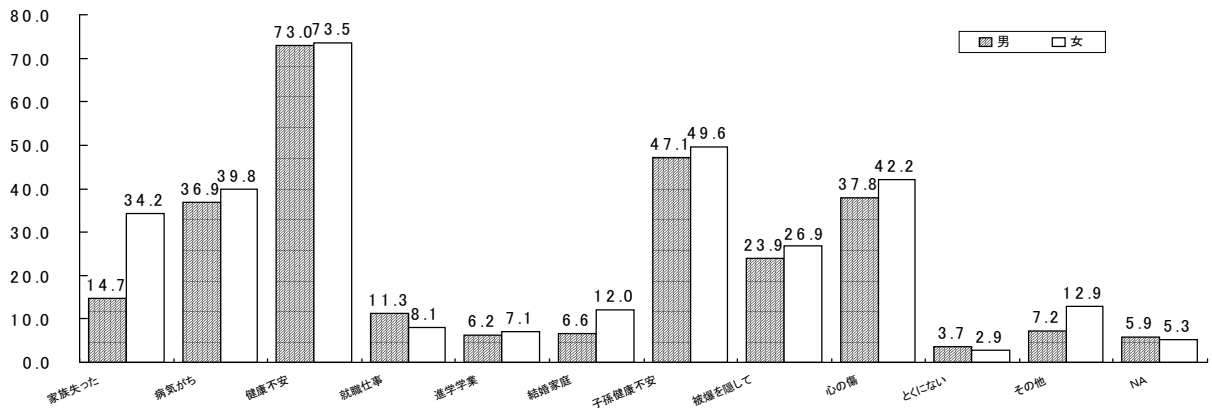
被爆時 年齢	9歳以下 (含 内)	10-19歳	20-29歳	30歳以上	NA	計			
男	131 (14.7)	526 (59.0)	221 (24.8)	12 (1.3)	1 (0.1)	891 (100.0)			
女	178 (24.9)	361 (50.6)	161 (22.5)	12 (1.7)	2 (0.3)	714 (100.0)			
NA	2 (28.6)	0 (0.0)	2 (28.6)	0 (0.0)	3 (42.9)	7 (100.0)			
計	311 (19.3)	887 (55.0)	384 (23.8)	24 (1.5)	6 (0.4)	1612 (100.0)			
被爆地	広島	長崎	両地	NA	計				
男	552 (62.0)	337 (37.8)	1 (0.1)	1 (0.1)	891 (100.0)				
女	368 (51.5)	338 (47.3)	0 (0.0)	8 (1.1)	714 (100.0)				
NA	2 (28.6)	1 (14.3)	0 (0.0)	4 (57.1)	7 (100.0)				
計	922 (57.2)	676 (41.9)	1 (0.1)	13 (0.8)	1612 (100.0)				
被爆状況	直爆	入市	救護	胎内	健診証	NA	計		
男	561 (63.0)	256 (28.7)	33 (3.7)	3 (0.3)	20 (2.2)	18 (2.0)	891 (100.0)		
女	459 (64.3)	154 (21.6)	28 (3.9)	6 (0.8)	41 (5.7)	26 (3.6)	714 (100.0)		
NA	1 (14.3)	1 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (71.4)	7 (100.0)		
計	1021 (63.3)	411 (25.5)	61 (3.8)	9 (0.6)	61 (3.8)	49 (3.0)	1612 (100.0)		
被爆距離	-1.0km	-2.0km	-3.0km	3km超	NA	計			
男	51 (9.1)	207 (36.9)	112 (20.0)	135 (24.1)	56 (10.0)	561 (100.0)			
女	39 (8.5)	169 (36.8)	99 (21.6)	104 (22.7)	48 (10.5)	459 (100.0)			
NA	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)			
計	90 (8.8)	376 (36.8)	212 (20.8)	239 (23.4)	104 (10.2)	1021 (100.0)			

2. 性別集計

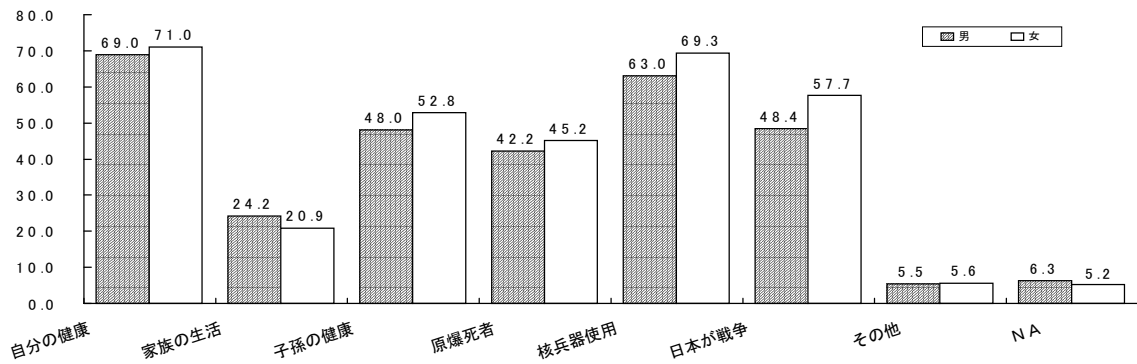
(%) 性別、問1「あの日」の忘れられないこと(複数回答)



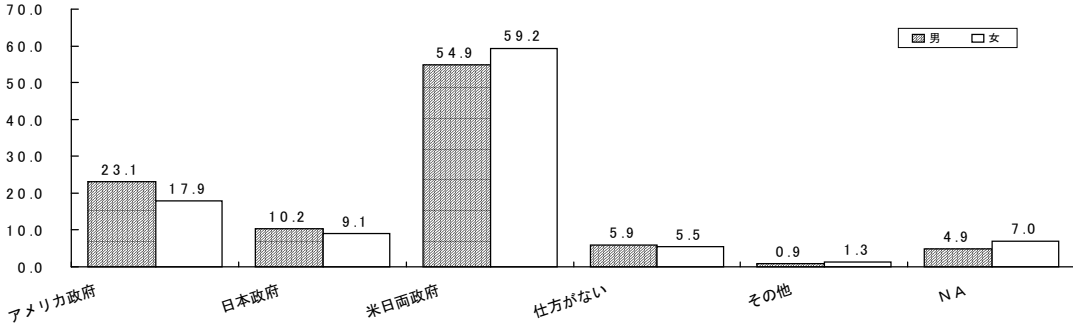
(%) 性別、問2 60年間でとくにつらかったこと(複数回答)

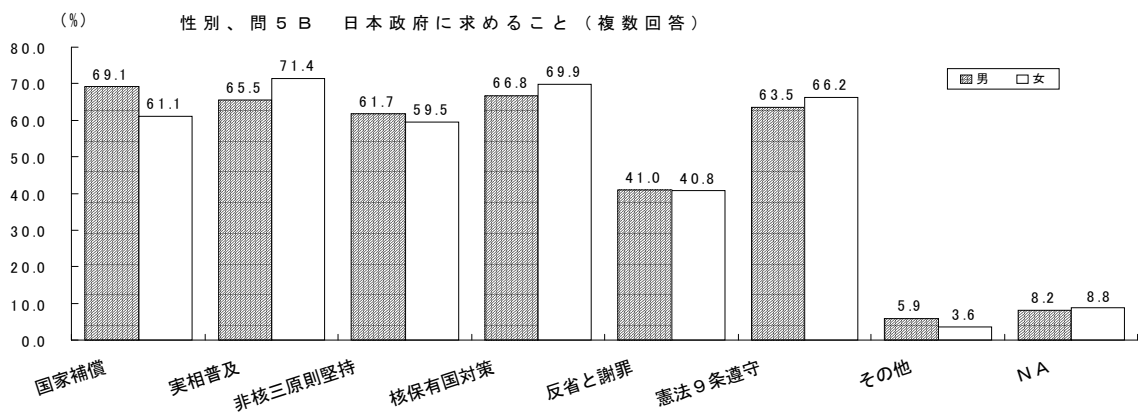
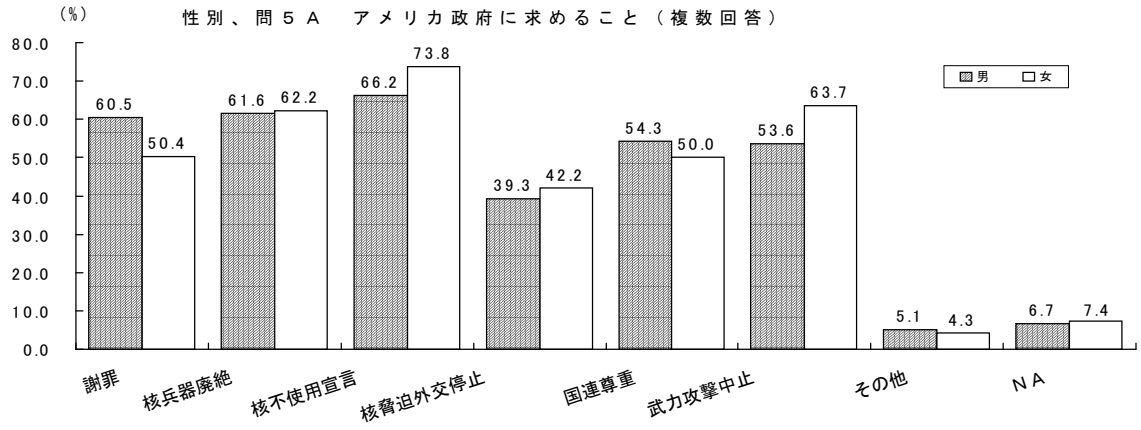


(%) 性別、問3 今とくに心にかかっていること(複数回答)

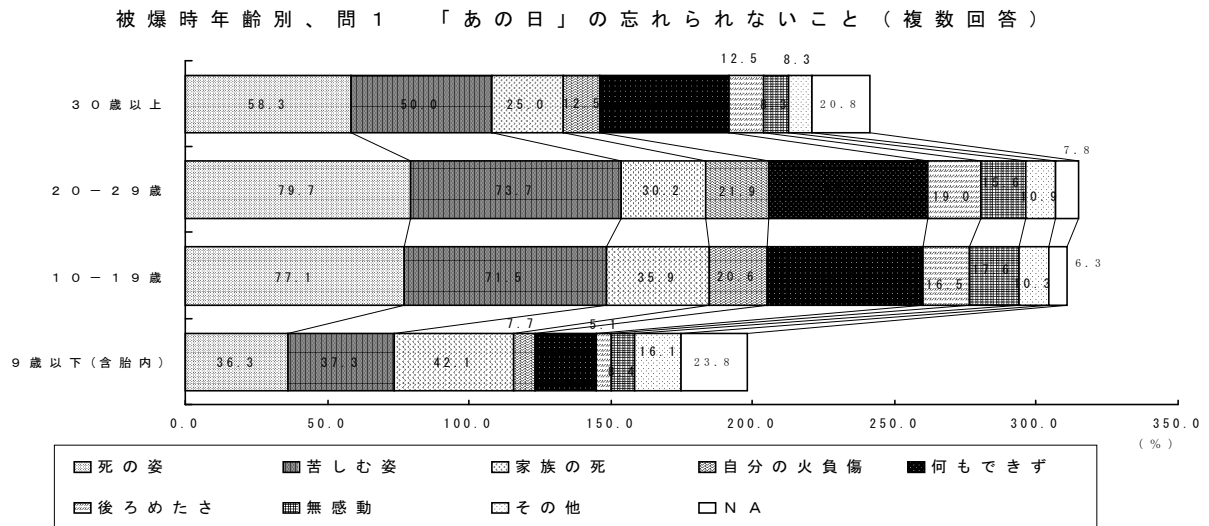


(%) 性別、問4 原爆被害の責任はどこにあると思うか

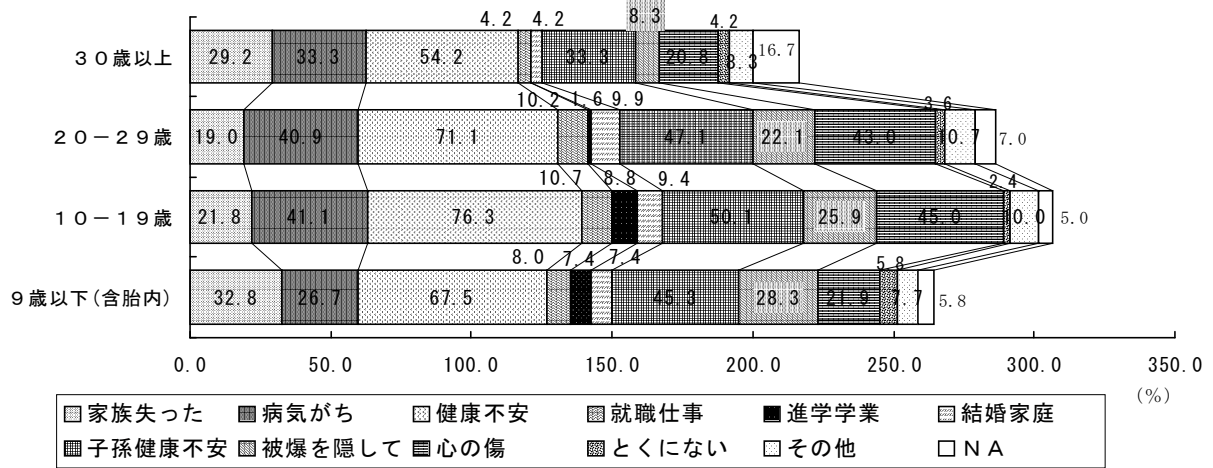




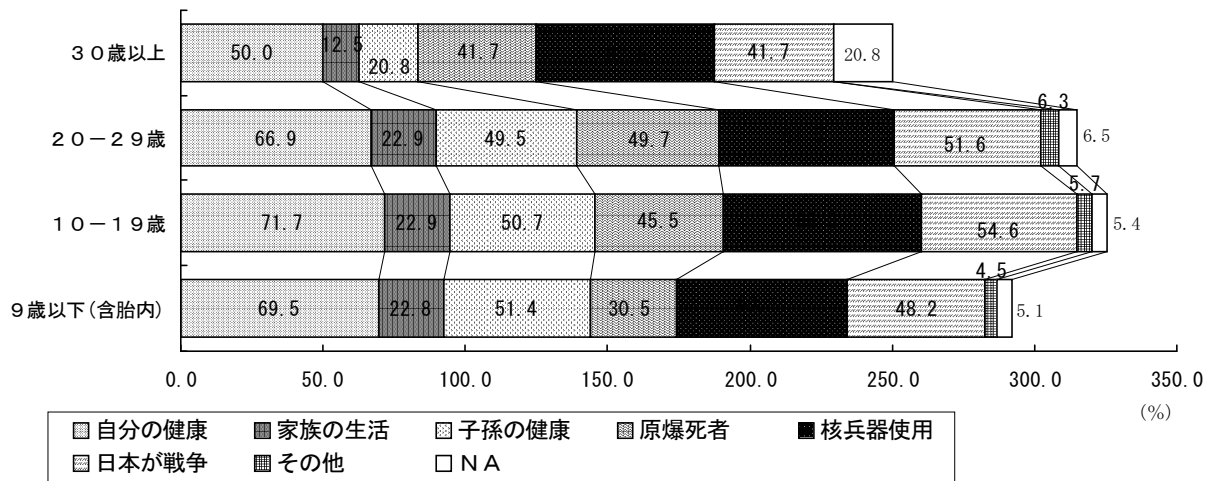
2. 被爆時年齢別集計



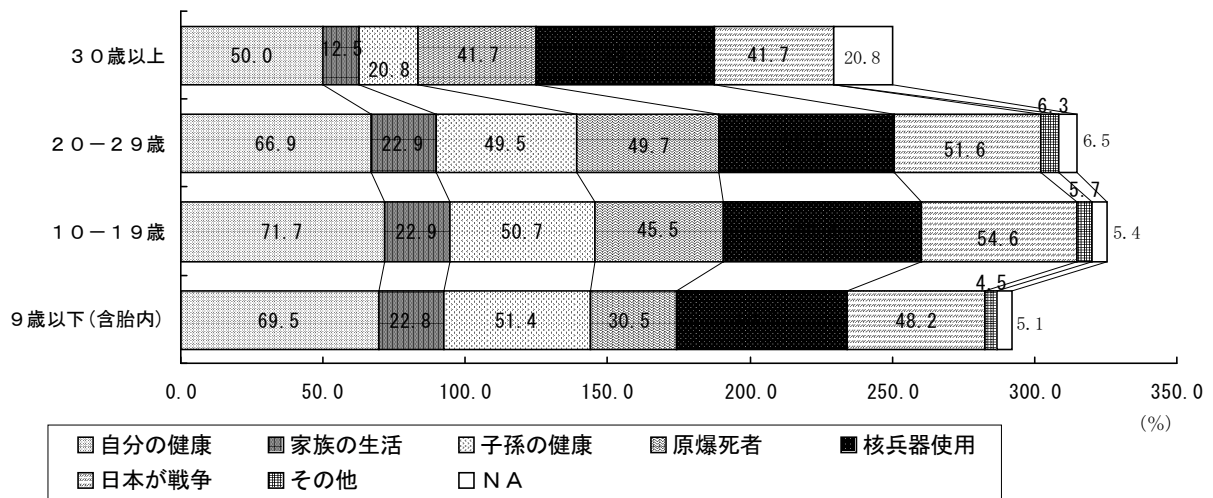
被爆時年齢別、問2 60年間でとくに良かったこと（複数回答）



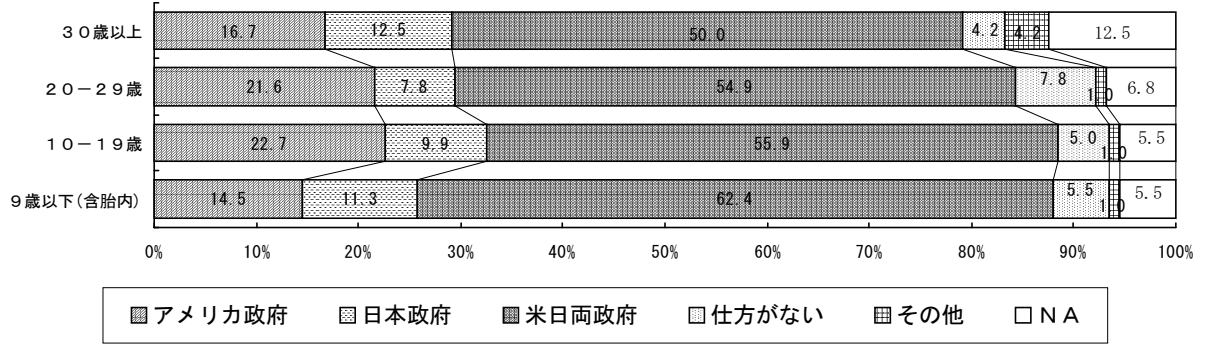
被爆時年齢別、問3 今とくにこころにかかっていること（複数回答）



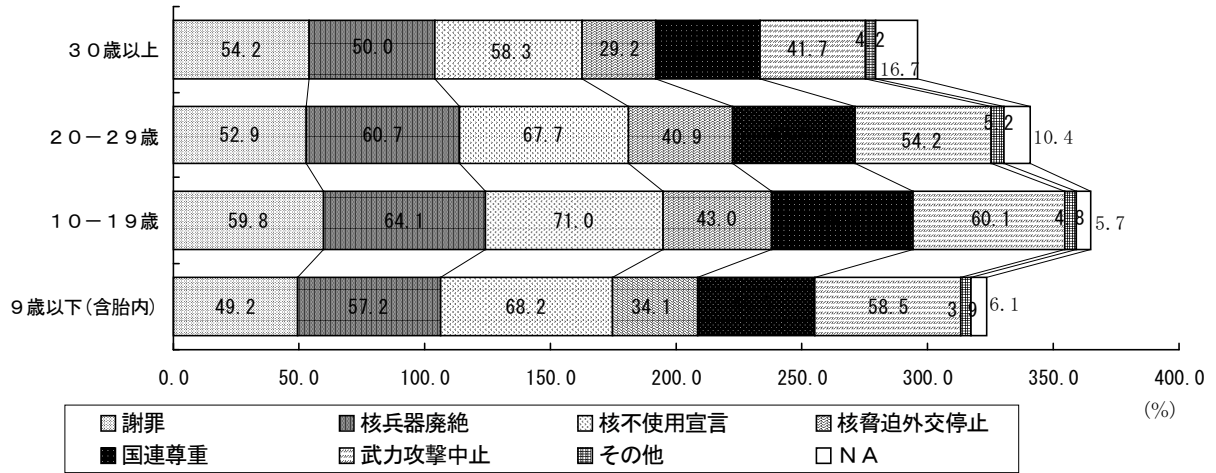
被爆時年齢別、問3 今とくにこころにかかっていること（複数回答）



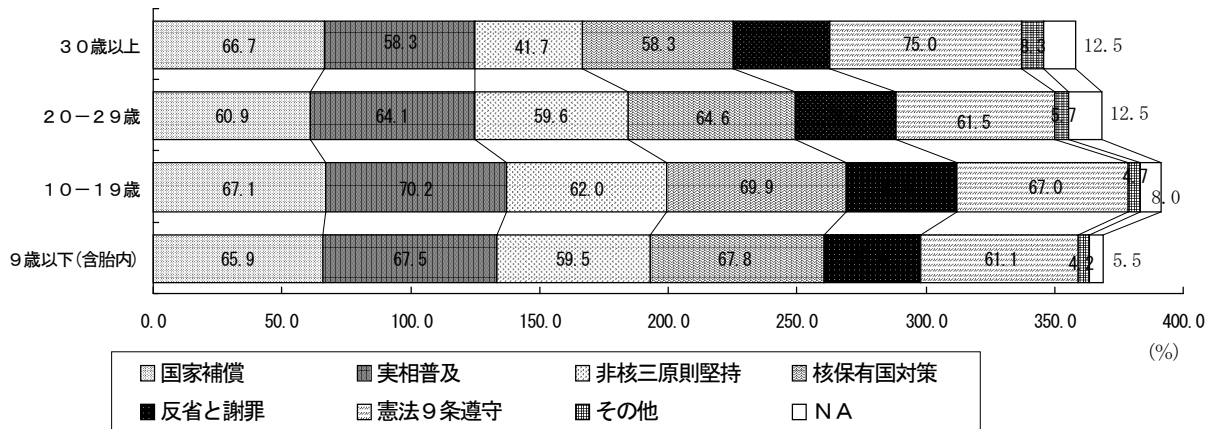
被爆時年齢別、問4 原爆被害の責任はどこにあると思うか



被爆時年齢別、問5A アメリカ政府にもとめること(複数回答)



被爆時年齢別、問5B 日本政府にもとめること(複数回答)



被爆60周年「わたしの訴え」

広島、長崎にアメリカが原爆を落としてから60年が経とうとしています。「ふたたび被爆者をつくらない」という私たちの願いは、世界中で数多くの人々の共感を呼び、核兵器廃絶の幅広い行動へと人々を導きました。

しかし、広島・長崎への原爆投下を肯定する考えもアメリカやアジアでは根深く、必ずしも「絶対悪」としての共通認識が確立されているとはいえません。それどころか、再び核兵器が使われかねない状況です。日本も再び戦争のできる国になるうとしています。

こうしたなか、ことし7月29～31日、広島・長崎の被爆の実相を内外に広く伝えながら、核兵器の犯罪性を訴え、核兵器廃絶への具体的道筋を明らかにすることを目的とした「ノーマア ヒロシマ・ナガサキ国際市民会議」が東京で開催されます。被爆者自身の声をどれだけ広く反映させることができるかが、「国際市民会議」の成功の決め手です。

この「わたしの訴え」は、被爆者一人ひとりの声を集結させるためのアンケートです。ご自身で記入されても、他の方に聞きとっていただいても構いません。〈原爆地獄〉を体験し、その後の60年を生きてきた被爆者として、いまこれだけは訴えたいという思いのたけを、ぜひ届けてください。

2005.3 日本原水爆被害者団体協議会

記入年月日	年 月 日	整理番号	
氏 名		性 別	1. 男 2. 女
生 年 月 日	明・大・昭 年 月 日		(被爆時年齢 歳)
現 住 所	〒 _____ 電話 _____ FAX _____		
被 爆 地	1. 広島 2. 長崎 [町名 _____] 離 距 _____ km		
手 帳 区 分	1. 直爆 2. 入市 3. 救護 4. 胎内 5. 健診受診者証		
氏名の公表の可否	1. 可 2. 不可		

【ご記入にあたって】

* 2～4ページの各問についての回答は、選択項目の中からご自身の思いに近いものに○をつけたうえで、なるべくご自身のことばで自由にご記入ください。

B. 日本政府に対して [いくつでも選択可]

- ① 原爆被害への国家補償を行う ② 被爆の実相を世界に広める
- ③ 非核三原則を堅持する
- ④ 被爆国として核保有国に核兵器廃絶をせまる
- ⑤ 日本の戦争を反省し、その犠牲となったアジアの人々に謝罪・補償をする
- ⑥ 憲法9条を守り戦争によらない平和外交をすすめる
- ⑦ その他 [_____]

日本政府へのあなたの思いを自由に

6. いま、被爆者として訴えたいこと。次代の人々にこれだけは伝えておきたいと願うことがあれば、ぜひお聞かせください。

※ご協力ありがとうございます。

[付：被爆者ご自身が記入しなかった場合]

記 録 者 氏 名	T E L
住 所	
聞きとり・記録をした感想をひとこと：	

<返送先> 〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-5 ゲイブルビル902 日本被団協
電話 03-3438-1897 FAX 03-3431-2113

1. 「あの日」やその直後のことで、今でも忘れられないこと、恐ろしく思っていること、心残りなことはどんなことですか？ [いくつでも選択可]

- ① 人々の死んでいる姿、死に方のむごさ
- ② 苦しんでいる人たちの姿
- ③ 家族や身近な人たちの死
- ④ 自分自身の火傷や負傷
- ⑤ 水や助けを求める人たちに何もしてあげられなかったこと
- ⑥ 生き残ったことの後ろめたさ
- ⑦ 何をみても無感動だったこと
- ⑧ その他 []

とくに忘れられない光景や、それを見て感じたことを具体的に

その内容を具体的に

3. 被爆者として、今とくに心にかかっていることはどんなことですか？ [いくつでも選択可]

- ① 自分の健康
- ② 自分と家族の生活
- ③ 子や孫の健康
- ④ 原爆で死んだ人たちのこと
- ⑤ また核兵器が使われるのではないか
- ⑥ 日本がまた戦争する国になるのではないか
- ⑦ その他 []

その内容を具体的に

2. 被爆してから今日までの60年間、被爆者として生きてきて、とくにつらかったことはどんなことでしたか？ [いくつでも選択可]

- ① 家族を失った
- ② 病気がちになった
- ③ 自分の健康がいつも不安
- ④ 就職・仕事が思うようにならず
- ⑤ 進学や学業が思うようにならず
- ⑥ 結婚・家庭生活が思うようにならず
- ⑦ 子供や孫の健康・将来が不安
- ⑧ 被爆をかくして生きてきた
- ⑨ あの日のできごとが心の傷になって残った
- ⑩ とくにつらいことはなかった
- ⑪ その他 []

その内容を具体的に。また、そのつらさを抱えながら生きてくるなかで、あなたの支えになったのはどんなことですか？

4. 原爆被害の責任はどこにあると思いますか？ [あなたの気持ちに一番近いもの1つを選択]

- ① アメリカ政府
- ② 日本政府
- ③ 米日両政府
- ④ 戦争だから仕方がない
- ⑤ その他 []

5. いま、被爆者として、アメリカ政府や日本政府にこれだけは求めたいと思うことはどんなことですか？

- A. アメリカ政府に対して [いくつでも選択可]
- ① 被爆者に謝罪すること
- ② 自国の保有する核兵器を率先してなくす
- ③ 核兵器不使用宣言をする
- ④ 核脅迫外交をやめる
- ⑤ 国連を尊重する
- ⑥ 他国を武力攻撃するのをやめる
- ⑦ その他 []

アメリカ政府へのあなたの思いを自由に

「わたしの訴え」にご協力ください

この冊子でご紹介した「わたしの訴え」のまとめは、あくまでも「ノーモア ヒロシマ・ナガサキ国際市民会議」に向けたもので、中間報告にすぎません。「わたしの訴え」は、このレポートをまとめるためのしめきりだった5月15日をすぎても続々と届いており、ボランティア志願者も現われています。

被爆60年（2005年）から日本被団協結成50周年（2006年）に向け、被爆者の現在（いま）の姿・声をストレートに反映し、次代に伝え残すものとして、ひとりでも多くの被爆者の「わたしの訴え」を集めたいと考えています。

被爆者のみなさんへ

まだ「わたしの訴え」を書いていない被爆者は、ぜひ書いてください。

自分では書けないが話すことはできるという人は、聞きに行きますから、ぜひご連絡ください。

支援者のみなさんへ

「聞き取り」ボランティアにご参加いただける人、パソコンを使っての日本語入力、翻訳作業（主に英語）などにご協力いただける人、ぜひご連絡ください。

問い合わせ窓口は日本被団協です。ボランティア向け情報ページもあります。

日本被団協のホームページには、「原爆被害者の基本要件」など、被爆者運動の基礎資料がありますので、ご活用ください。

募金のお願い

日本被団協は、全国の被爆者と支援者のみなさんからの募金で活動しています。今年とはとくに被爆60年にあたり大運動をくり広げているため、よりいっそうの資金が必要です。みなさまのご協力をお願いいたします。

【振込先】 郵便振替口座00100-9-22913 日本原水爆被害者団体協議会

▼日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）

〒105-0012

東京都港区芝大門1-3-5 ゲイブルビル902

電話 03-3438-1897 FAX 03-3431-2113

E-mail kj3t-tnk@asahi-net.or.jp

URL <http://www.ne.jp/asahi/hidankyo/nihon/>

▼「わたしの訴え」のボランティア向け情報ページ

http://www15.ocn.ne.jp/~go2/hibaku60icc_w4/open_documents.html

▼ノーモア ヒロシマ・ナガサキ国際市民会議 オフィシャルページ

<http://www.hibaku60icc.org/>